PARAMOUNT BED

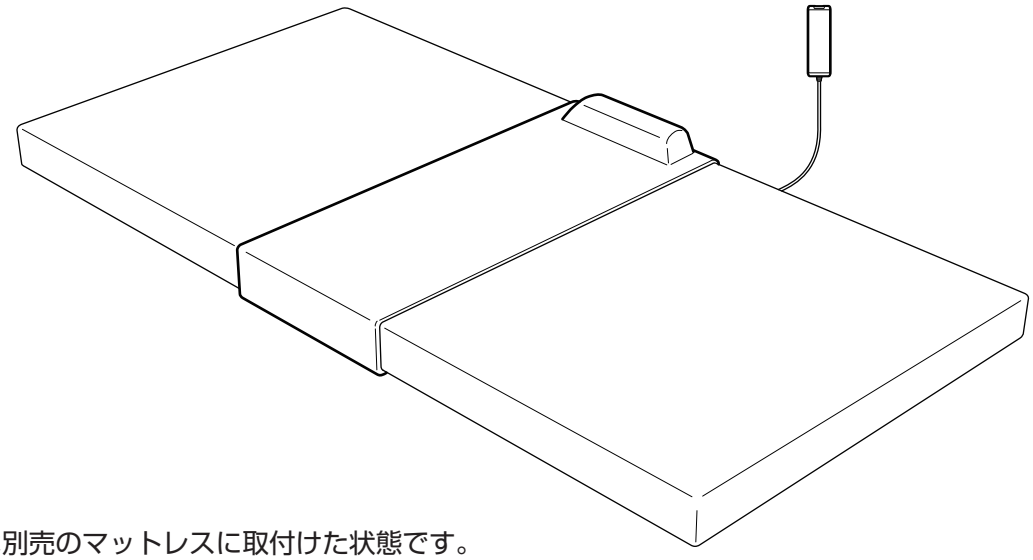
取扱説明書

排泄センサー

排泄センサー　ヘルプパッド
Helppad
おむつからの119番。

NN-6000

7F11417300A0
保証書付



※イラストは別売のマットレスに取付けた状態です。

まえがき

このたびは**排泄センサー Helppad（以下、Helppad ）**をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。この「取扱説明書」には、Helppad を安全にお使いいただくための注意事項と使用方法などを記載しております。

- **Helppad をお使いになる前に、必ずこの「取扱説明書」を良くお読みいただき、正しく安全な取扱方法を理解してください。**
- **この「取扱説明書」は、お読みなった後もいつでも見られる場所に保管してください。**
- この製品は、改良などにより、この「取扱説明書」の内容と一部異なる場合があります。
- 寸法・角度・質量などの数値の記載がある場合、その数値には多少の誤差が含まれます。特別なものを除き、この「取扱説明書」では、表示を見やすくするため「約」・「およそ」といった言葉を省略しております。
- ご不明点がありましたら、お買い上げの販売店または直接弊社までお問い合せください。
- **Helppad** は日本国内専用です。海外では電源電圧が異なるため使用できません。

パラマウントベッド株式会社

もくじ

1 使用目的・使用対象者・特長 …… 2

2 部品の確認 …… 3

3 各部の名称 …… 4～6

4 安全に使用するための注意事項 …… 7～9

5 ご使用の前に …… 10・11

6 設置方法 …… 12～14

7 使用方法 …… 15～23

8 オプション …… 24～28

9 日常の点検とお手入れ …… 29～37

10 長期保管と廃棄 …… 38

11 故障かな？と思ったら …… 39

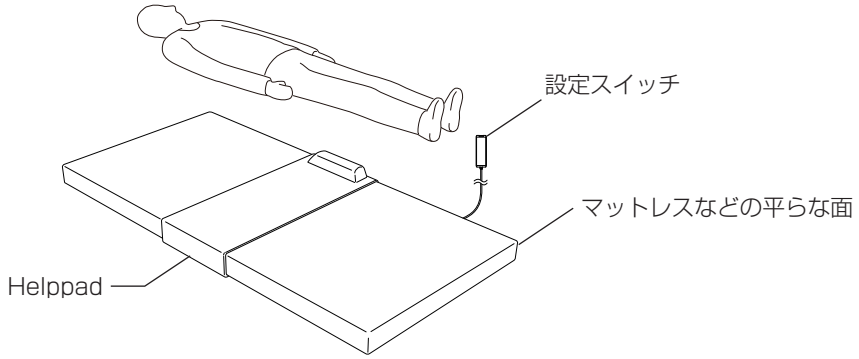
12 仕様 …… 40

13 アフターサービスについて …… 41

1 使用目的・使用対象者・特長

■使用目的

●Helppad は、ベッド上の使用者がおむつ内に排泄したことを検知し、排泄情報の記録や排泄リズムを把握することを目的とする製品です。



注記

●設置条件の詳細は 10・11 ページ「5. ご使用の前に」と 12 ～ 14 ページ「6. 設置方法」を参照してください。

●本製品はあくまでもベッド上のおむつ内の臭気の変化から、排泄があったと推測されたときに通知を行います。したがって、誤検知・検知漏れの可能性があります。また、使用者の体動や寝位置、使用環境などによっては、 正しく検知できなくなります。

項目	影響	参照ページ
体動による影響	●体位変換やベッド上での移乗などの体動は、臭気が変化するため、誤って検知する可能性があります。 ※体位変換や移乗を行う際は、一時停止機能を使用してください。	22
寝位置による影響	●吸引シートの吸引口におむつが触れていない場合、臭気が取れないため検知できません。 ※使用者の股下を吸引シートの中央マークにあわせてください。	15
使用環境による影響	●湿布などの使用者の身体に付けられたにおいは、誤検知・検知漏れを引き起こします。 ●お香や食事のにおい、他の方のおむつ交換の臭気などで誤検知する可能性があります。 ●薬やサプリメント、食事の種類によっては排泄物の臭気が減少し、検知漏れを引き起こす可能性があります。	—

■使用対象者

●日常的におむつを使用される方で、おむつ内に排泄をされる方。
●自力で体位変換が行えない方。

■特長

●ベッド上に Helppad を設置してご使用いただけます。
●おむつ内に「排尿」と「排便」があったことを検知できます。(排泄物の種類の識別や量の推測はできません)
●衣服やおむつを着用したまま、ご使用いただけます。
●排泄の検知時は、ベッドサイドの設定スイッチに通知します。
● WEB アプリを使用することで、無線通信でお手持ちのパソコンに、通知や排泄記録の保存が行えます。（16 ページ参照）

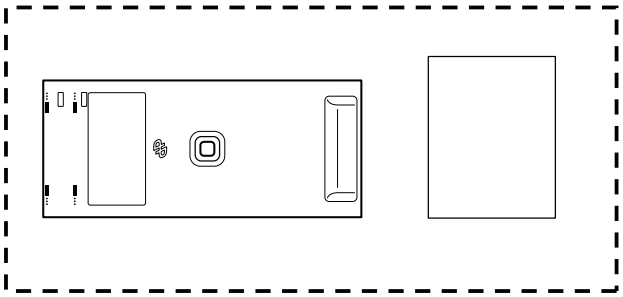
注記

●Helppad の使用方法は 15 ～ 23 ページを参照してください。

2 部品の確認

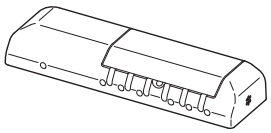
開梱後、下記の部品がすべて揃っていること、破損していないことを確認してください。万一、部品の不足や破損があった場合には、お買い上げの販売店または直接弊社までご連絡ください。

製品本体

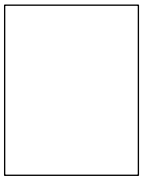


吸引シート× 1

設置手順書× 1
※吸引シート用



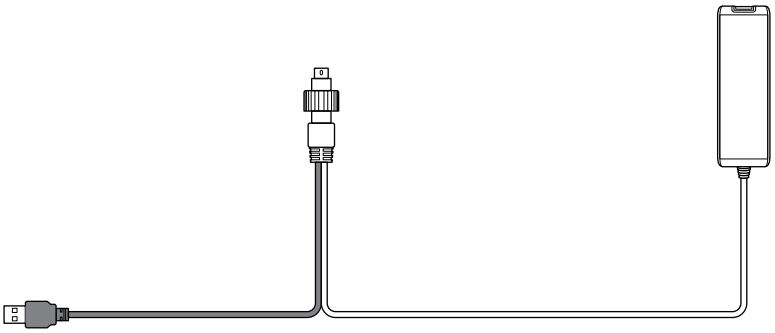
ポンプユニット× 1



取扱説明書（本書）× 1
※保証書付

コードクリップ× 1

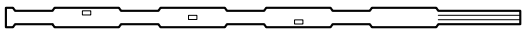
AC アダプター× 1



分岐ケーブル× 1

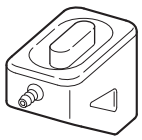
設定スイッチ× 1

予備部品



吸引チューブ× 2

フィルター× 6



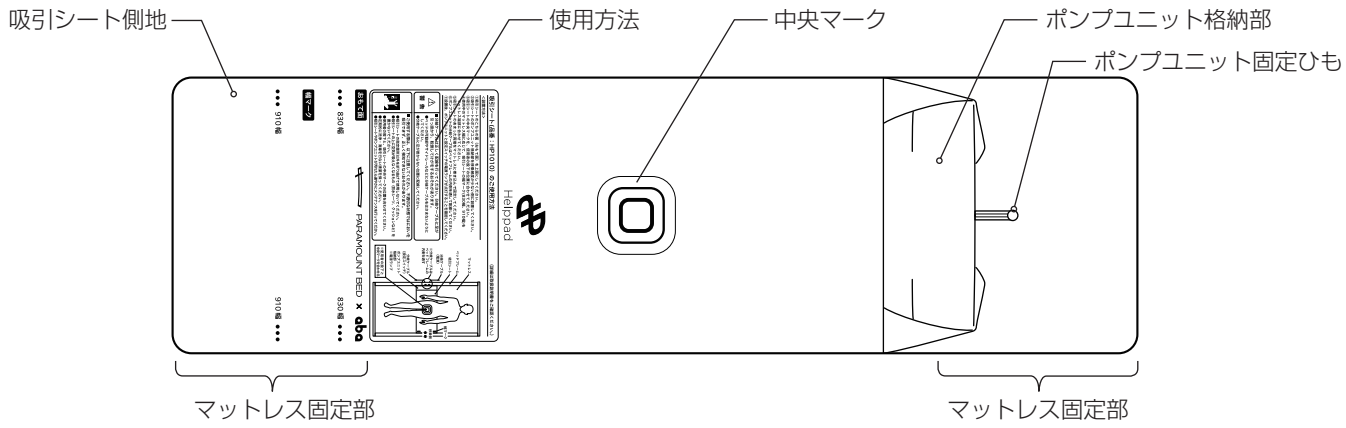
タンク× 6

3 各部の名称

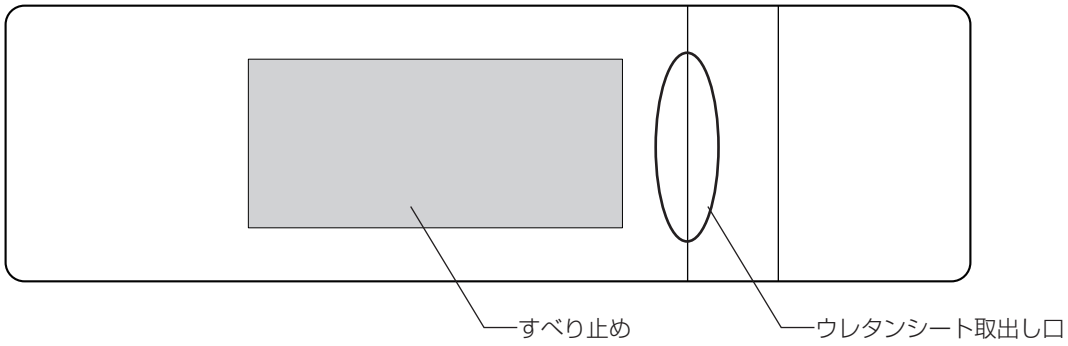
■吸引シート

●側地

おもて面

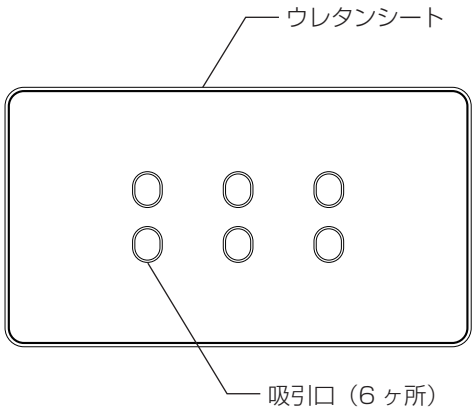


うら面

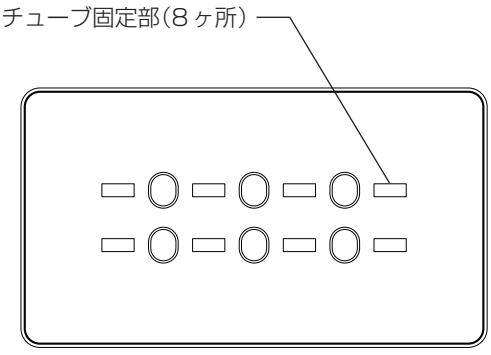


●ウレタンシート

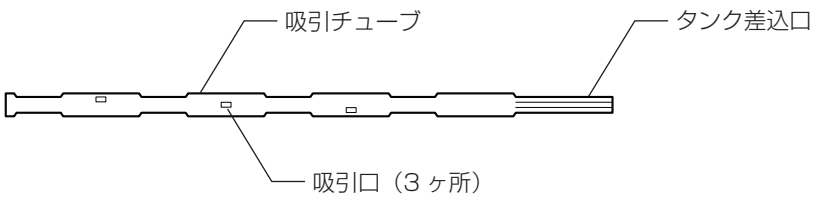
おもて面



うら面



●吸引チューブ



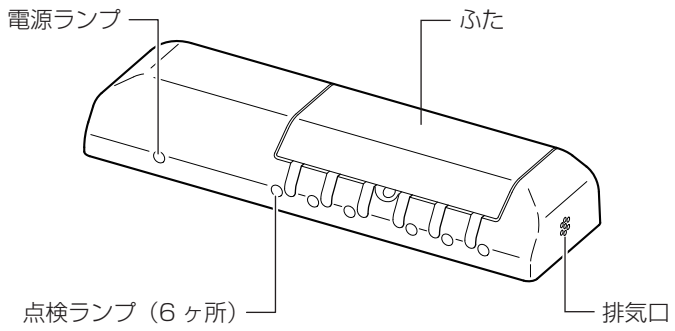
3 各部の名称

■ポンプユニット

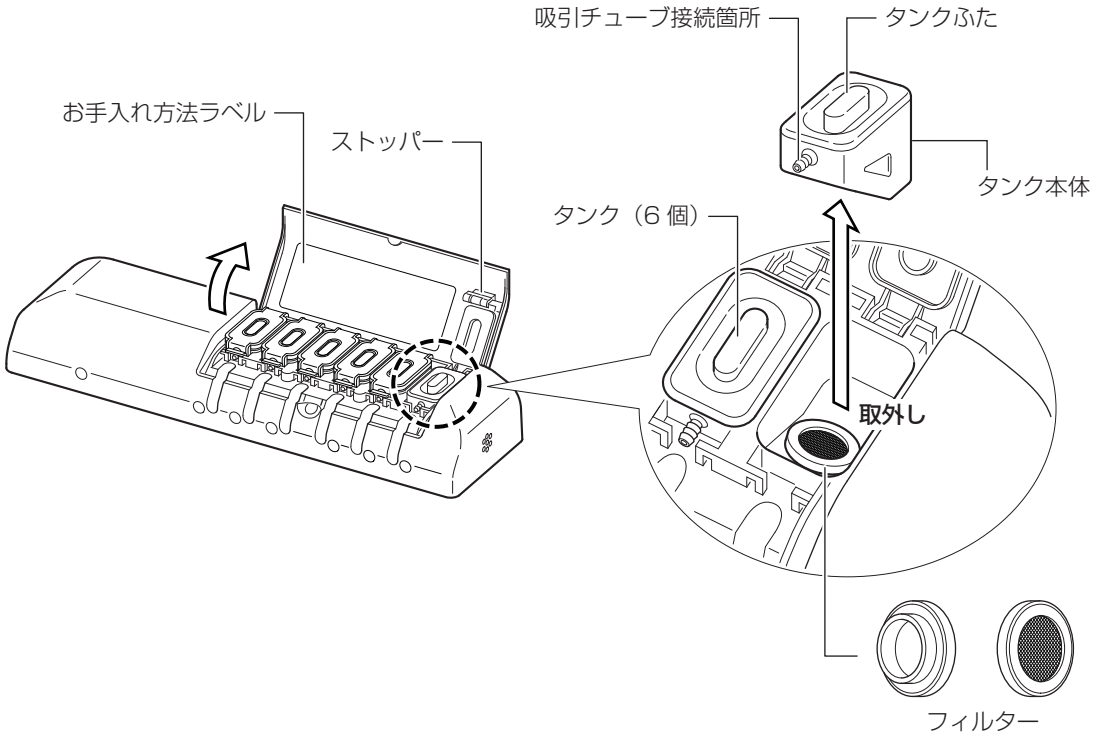
注記

● ポンプユニットの詳細については、17 ページを参照してください。

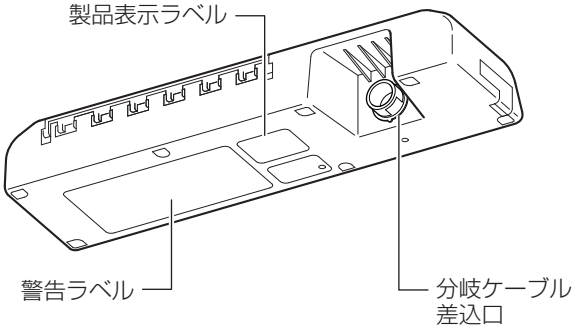
おもて面



おもて面（ふた開放時）



うら面

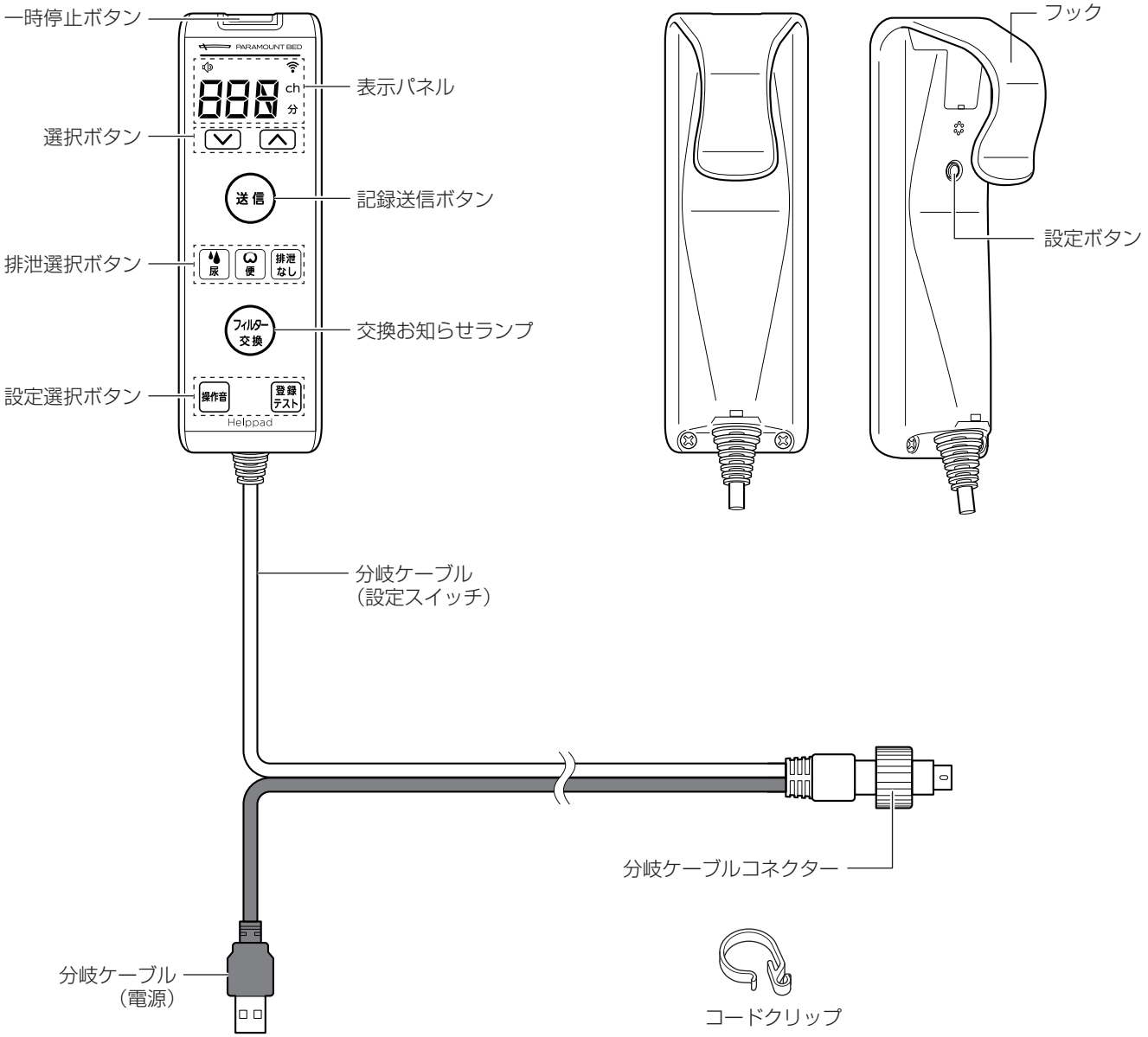


■設定スイッチ (分岐ケーブル)

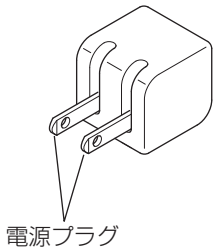
●設定スイッチの詳細については、18 ページを参照してください。

おもて面

うら面



■ AC アダプター



4 安全に使用するための注意事項

■ 必ずご使用の前にこの「安全に使用するための注意事項」をお読みいただき、正しくお使いください。

- ここに示した注意事項は製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度に応じて「⚠警告」と「⚠注意」の2つに区分しています。**いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。**

※取扱説明書をお読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。

⚠警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、死亡または重傷（骨折・圧迫・麻痺など）を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が軽傷（打撲・すり傷・切り傷など）を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

⚠警告

■ポンプユニットに水などをこぼさないでください

- ショートして感電したり、故障したりする原因となります。液体（便・尿など）を誤ってこぼしてしまった場合には、AC アダプターをコンセントから抜き、33 ページに従ってお手入れを実施してください。

■ポンプユニット・設定スイッチ・分岐ケーブルに強い衝撃を加えたり、腰・膝などで人の荷重をかけたり、重いものを載せたりしないでください

- 破損・変形して、感電・火災のおそれがあります。
- 転落・転倒して、けがをするおそれがあります。

■火気に近づけないでください

- Helppad の近くで、ストーブなどの熱器具を使用しないでください。変質・変形・火災などの原因となります。

■お客様による指定の点検手順以外の分解・修理・改造はしないでください

- 感電・火災のおそれがあります。

■分岐ケーブルは正しく配線を行ってください

- 分岐ケーブルが破損して感電・火災のおそれがあります。
- 分岐ケーブルに足が引っ掛かり、転倒してけがをするおそれがあります。
  - ・ベッドの可動部やサイドレールなどで分岐ケーブルをはさまないようにしてください。
  - ・分岐ケーブルに足が引っ掛からない位置に配線してください。
  - ・分岐ケーブルを引っ張ったり、無理な力を加えたりしないようにしてください。
  - ・配線が正しく行われていることを定期的に点検してください。
  - ・分岐ケーブルを接続したまま、Helppad を移動しないでください。
  - ・ベッドを移動する際は、Helppad の AC アダプターをコンセントからを抜いてください。

■ポンプユニット・設定スイッチ・分岐ケーブルを傷つけないでください

- 感電・火災のおそれがあります。

⚠警告

■ 電源プラグに無理な力を加えないでください

- 感電・火災のおそれがあります。

■ 電源プラグにほこりを付着させないでください

- 電源プラグの表面にほこりが付着していると、水分を含んで電流が流れ、絶縁状態が悪くなり、感電・火災のおそれがあります。
- 電源プラグの表面にほこりが付着している場合、乾いた布などでよく拭き取ってください。

■ AC アダプターを濡れた手で抜き差ししないでください

- ショートして感電・故障のおそれがあります。

■ ME 機器や心臓ペースメーカーと併用する際は、安全を確認してからご使用ください

- Helppad の故障や通知・検知が正しく行われないおそれがあります。
- ME 機器や心臓ペースメーカーが正しく動作しないおそれがあります。

■ 電子治療器を使用するときは各医療機関や施設の案内および指示に従い、安全を確認してからご使用ください

- 電子治療器 (マイクロ波治療器、超短波治療器など) を同時に使用した場合、Helppad の故障や通知・検知が正しく行われないおそれがあります。
- 電子治療器 (マイクロ波治療器、超短波治療器など) が正しく動作しないおそれがあります。

■ Helppad に接続するAC アダプターおよび分岐ケーブルは付属品を使用してください

- 付属品以外の AC アダプターおよび分岐ケーブルを使用すると、電圧や端子の極性が異なることがあるため、発煙・火災のおそれがあります。

■ 電源プラグを抜く際は AC アダプターを持って抜いてください

- 電源プラグを抜く際、分岐ケーブルを持って引き抜くと AC アダプターが破損したり、分岐ケーブルが傷んだりして、感電・火災のおそれがあります。

■ 被災した Helppad は点検修理を依頼してください

- 地震・火災・水害などで被災した Helppad は、お買い上げの販売店またはパラテクノコールセンター（41 ページ参照）まで、点検・修理をご依頼ください。ショートや漏電により感電・火災のおそれがあります。

■ タコ足配線は行わないでください

- コンセントや延長コードの容量を超える電気製品を同時に接続して使用すると、AC アダプターや分岐ケーブルが発熱して発火するおそれがあります。

4 安全に使用するための注意事項

⚠注意

■ 長期間使用しない場合には、安全のため AC アダプターをコンセントから抜いてください

- 破損・故障するおそれがあります。

■ 厚手の毛布などをポンプユニットに掛けた状態で放置しないでください

- ポンプユニットに熱がこもり、周辺の温度が上昇するおそれがあります。温度が上昇した箇所に長時間手や足が触れると、低温やけどのおそれがあります。
  ・1日に1回以上、布団内の空気を入換えてください。
- 製品の温度が上昇し、Helppad が故障するおそれがあります。電気カーペットや電気毛布などをご使用の場合は温度に注意してください。

■ ポンプユニットを落としたり傷つけたりしないでください

- 破損・変形するおそれがあります。

■ 保管する際は下記の事項に注意してください

- 重いものを載せたり、力がかかったりする状態で保管しないでください。Helppad が破損・故障するおそれがあります。
- 吸引チューブを折り曲げた状態で保管しないでください。チューブが変形して空気を吸引できなくなり、正しく検知されないおそれがあります。（保管方法は 38 ページ参照）

■ スプレータイプの殺虫剤を Helppad に直接噴射しないでください

- 殺虫剤に含まれる溶剤によって、Helppad が変形・変色・融解するおそれがあります。また、融解した部分で思わぬけがをするおそれがあります。

■ Helppad は定期的に点検してください

- 使用の頻度や環境により劣化するおそれがあります。定期的に破損や汚れの有無などを点検してください。

■ 汚れた吸引シートを取外す際はポンプユニットを取外してください

- 吸引シート上の水分（尿など）がかかり、ポンプユニット内部に浸水するおそれがあります。
- 吸引チューブやタンク内部に溜まった水分（尿など）がポンプユニットに流れ込み、ポンプユニット内部に浸水するおそれがあります。

■ 適合する設置条件や設置方法以外では使用しないでください

- 測定が正しく行われないおそれがあります。また、製品同士の接触やケーブル類がはさまれるなどして、破損・変形の原因となります。

■12 歳以下のお子様や操作が理解できないと思われる方に操作をさせないでください

- 測定が正しく行われなかったり、故障したりする原因となります。

5 ご使用の前に

Helppad について

● **Helppad をご使用する際は、以下に注意してください。不適切な状態では、においを吸引できず、正しく検知できないおそれがあります。**

- Helppad は、弊社が指定する設置方法で使用してください。
- Helppad を設置した後は、点検を行ってください。（点検項目は 14 ページ参照）
- 吸引シートや吸引チューブ、タンク、フィルターが汚れたら速やかにメンテナンスを行ってください。（メンテナンス方法は 29 ～ 37 ページ参照）
- 使用者の股下と、吸引シートの中央マークの位置をあわせて使用してください。（15 ページ参照）
- 吸引シートは指定箇所以外を折り曲げて使用しないでください。
- 吸引シートの上に空気が吸えなくなるもの (防水シーツ、クッションなど) を置かないでください。
- うつぶせ寝では使用しないでください。
- 空気を通しにくい服（ウィンドブレーカーなど）を着用しないでください。
- 空気を通しにくい、ビニール素材の様なおむつのアウター (外側のパンツやおむつ) とインナー (内側のパッド) は、使用しないでください。
- おむつのアウターとインナーは、各 1 枚までにしてください。
- 男性の陰茎部にパッドを巻きつける当て方（男巻き）は行わないでください。
- 尿路カテーテルを使用しないでください。
- 2 人以上で使用しないでください。(ペットも不可)

警告ラベル・製品表示ラベル・お手入れ方法ラベル・使用方法印字について

● 注意事項の中で、特に注意していただきたい項目をラベルなどにして下記の場所に印刷･貼付してあります。はがしたり傷つけたりしないでください。
  ・ポンプユニットのうら面とふたの内側
  ・吸引シート側地のおもて面

● 吸引シート側地の使用方法印字が傷ついたり、はがれたりした場合は、販売店から新しい側地を取寄せ、交換してください。

● ポンプユニットの警告ラベル･製品表示ラベル･お手入れ方法ラベルが傷ついたり、はがれたりした場合は、販売店から新しいラベルを取寄せ、貼り直してください。

5 ご使用の前に

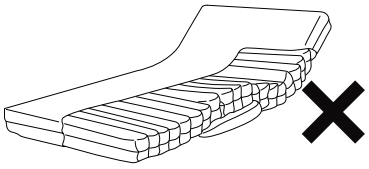
設置条件

Helppad を使用される際は、吸引シートのおもて面を上面にして、以下の環境に設置してください。

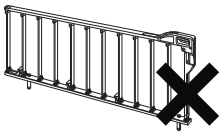
【設置面】

・マットレスなどの平らな面

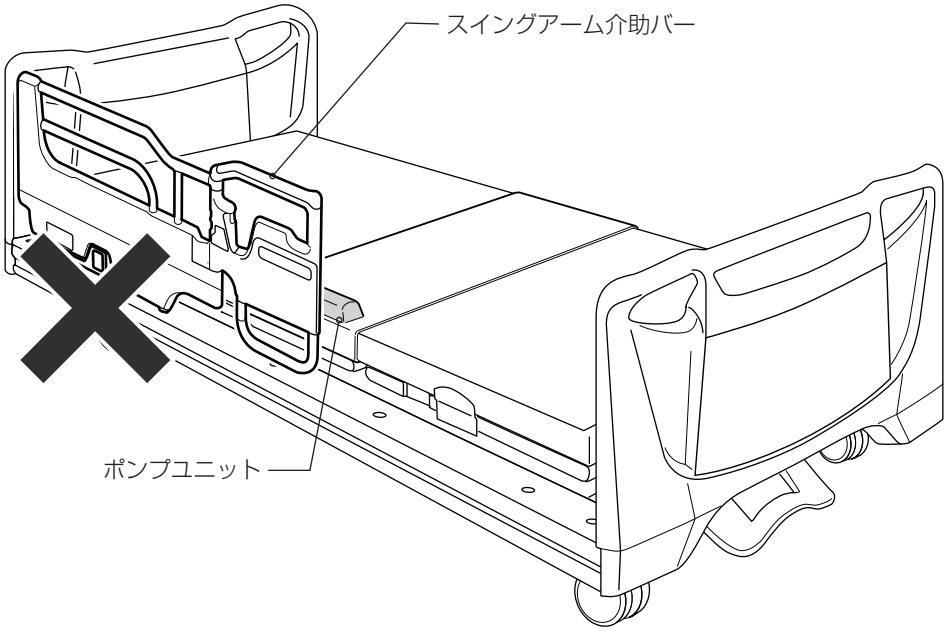
- **臀部周辺が膨張する、または表面から空気を流すエアマットレスや、折りたたみベッドサイドレールを取付けたベッド上には設置できません。**
- **ポンプユニット設置側への、スイングアーム介助バー・サイドグリップの設置はできません。**



エアマットレス



折りたたみ
ベッドサイドレール



【適合寝具】

・幅 83 ～ 91cm のマットレス

6 設置方法

⚠警告

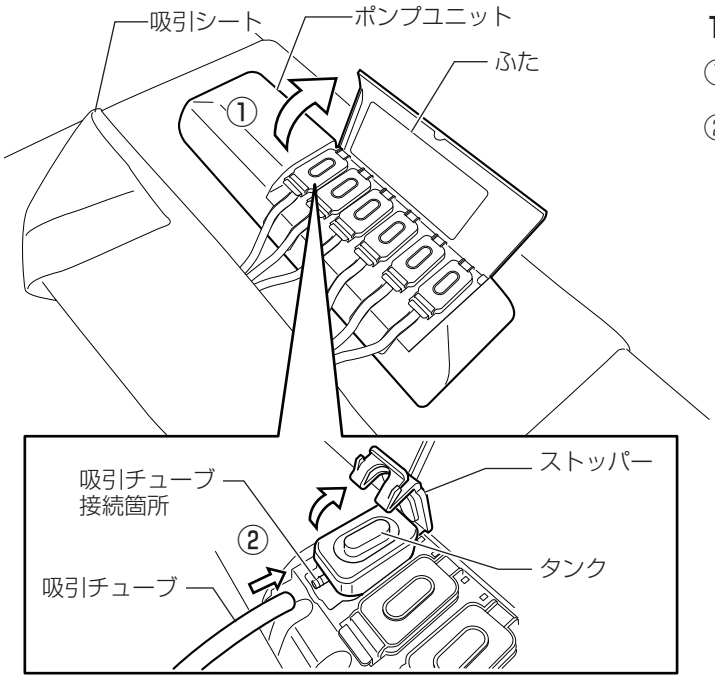
- **設定スイッチの取扱いに注意してください。ショートなどによる感電・火災のおそれがあります。**
  - ・ぶつけたり、傷つけたりしないでください。
  - ・落としたり、分岐ケーブルを無理に引っ張ったりしないでください。
- **傷んだ設定スイッチは修理（交換）を依頼してください。**

注記

- **ポンプユニットを傾いた状態で設置しないでください。正しく検知できなくなるおそれがあります。**
- **設定スイッチを使用しないときは、フットボードの外側に掛けてください。それ以外の場所に掛けると誤って操作ボタンが押され、意図せず設定が切換わるおそれがあります。**

■ Helppad の設置

下記の手順に従って Helppad を設置してください。



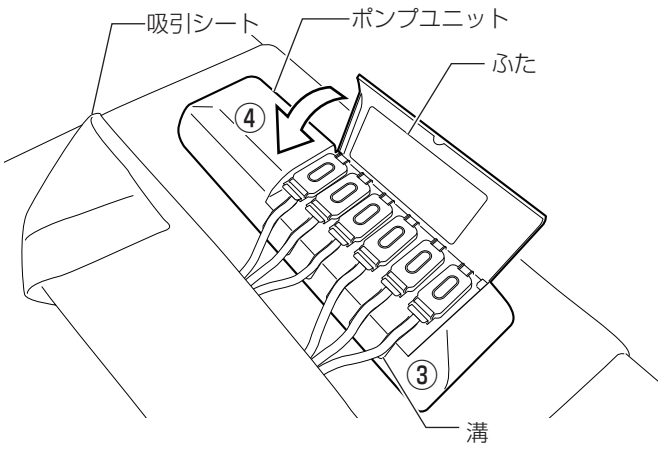
1. ポンプユニットの取付け

①ポンプユニットのふたを開けてください。

②吸引シートのポンプユニット格納部から出ている6本の吸引チューブをポンプユニットのタンク（6 個）に、奥までしっかりと接続してください。

注記

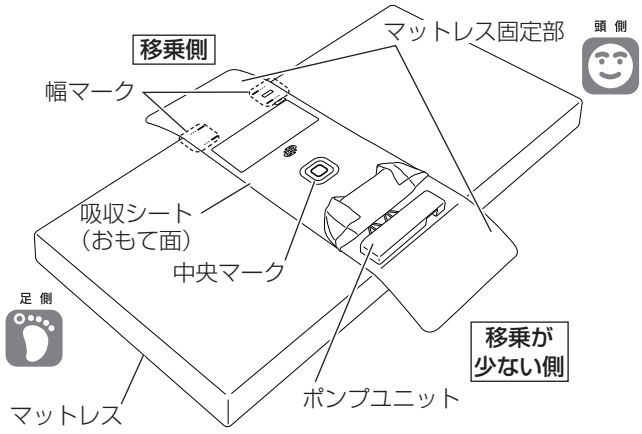
- **吸引チューブがタンクに差込みづらい場合、ストッパーをあげてから差込んでください。ストッパーは「カチッ」と音がするまで押込み、タンクを固定してください。**
- **吸引チューブをタンクに接続する際は、吸引チューブの曲りやねじれ、タンクの吸引チューブ接続箇所の破損などがないように接続してください。**

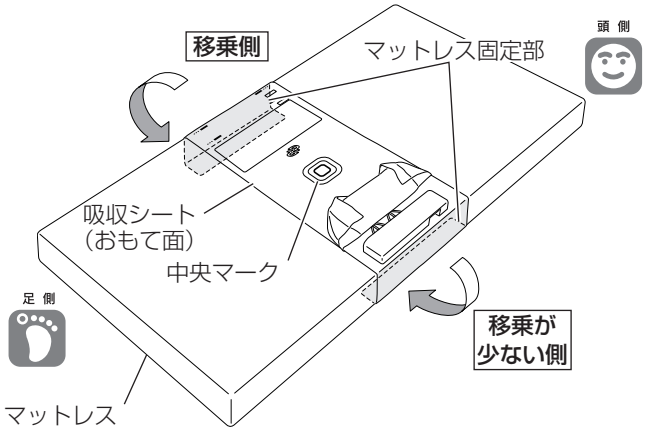


③吸引チューブをポンプユニットの溝（6ヶ所）に入れてください。

④ポンプユニットのふたを、「カチッ」と音がするまで閉めてください。

6 設置方法





2. 吸引シートの設置

①吸引シートの印字がある面（おもて面）を上にしてください。

②ポンプユニットを移乗が少ない側に設置してください。

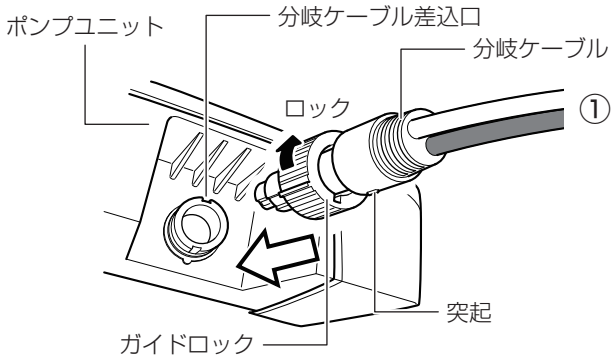
※左図では、マットレスの右側から移乗することを想定して設置しています。

③使用中のマットレス幅に応じて、吸引シートの幅マーク (83cm 幅·91cm 幅) をあわせてください。

④吸引シートの余った両端(マットレス固定部) をマットレスに巻き込んで固定してください。

注記

- **吸引シートは、ベッドメーキングしたシーツ類の上に設置してください。**
- **防水シーツが吸引シートの上に敷かれると、空気が吸引できず、正しく検知できなくなります。**
- **吸引シートの中央マークが、使用者の股下にあう位置に敷いてください。**
- **吸引シート設置後は、しわを伸ばしてください。**



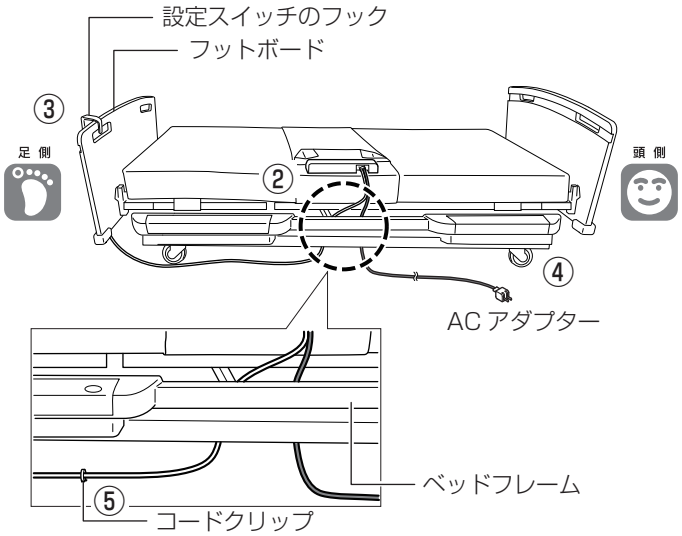
3. 分岐ケーブルの配線

①分岐ケーブルコネクターの突起部を下向きにして、ポンプユニットの分岐ケーブル差込口に差込み、ガイドロックを時計回りに「カチッ」と音がするまで回してください。

②ベッドフレームのある機種に関しては、分岐ケーブルを図のようにベッドフレームの内側を通して配線してください。

③設定スイッチのフックを利用して、設定スイッチをフットボードの外側に引っ掛けてください。

④AC アダプターに分岐ケーブル（電源）を接続し、AC アダプターをコンセントに差込んでください。

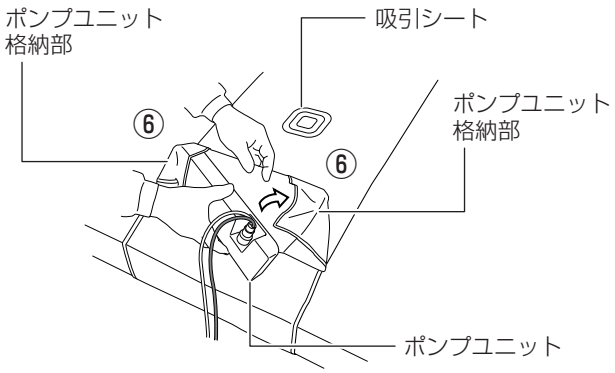


注記

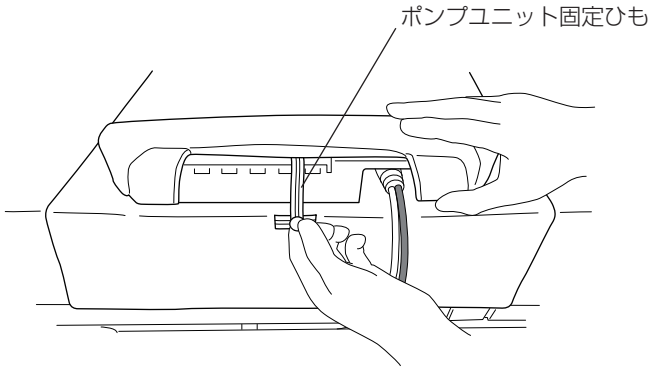
- **ポンプユニットと設定スイッチの電源ランプが緑点灯していることを確認してください。**

⑤付属のコードクリップを分岐ケーブル(設定スイッチ）に取付け、サイドレールなどに引っ掛けてください。

分岐ケーブルがゆかに着くことを予防することができます。



⑥吸引シートのポンプユニット格納部にポンプユニットを左図のように格納・固定してください。



⑦ポンプユニット固定ひもを左図のように使用し、ポンプユニットを吸引シートに固定してください。
※ポンプユニットは必ずマットレスの上に、水平になるように設置してください。

■ 設置後の点検方法

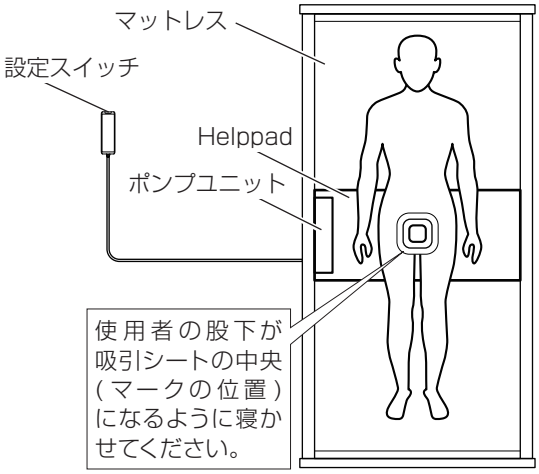
Helppad の設置が完了したら、ご使用になる前に下記の点検表に従って、動作の点検を行ってください。

設置後の点検項目	チェック	
吸引シートの設置 ・吸引シートは正しい位置に設置されていますか？	□はい	□いいえ → 13 ページ
ポンプユニットはマットレス上に設置されていますか？	□はい	□いいえ → 13 ページ
吸引チューブの接続 ・吸引チューブはポンプユニットに接続されていますか？ ・吸引チューブが折れ曲っていませんか？	□はい	□いいえ → 12 ページ
配線の確認 ・分岐ケーブルは正しく配線されていますか？	□はい	□いいえ → 13 ページ
電源ランプの確認 ・ ポンプユニットと設定スイッチの電源ランプは緑点灯していますか？	□はい	□いいえ → 17 ページ
点検ランプの確認 ・ ポンプユニットの点検ランプが赤点灯していないことを確認しましたか？	□はい	□いいえ → 17 ページ
ベッドを最高高さまであげた際に、ケーブルが無理に引っ張られるような配線になっていませんか？	□はい	□いいえ → 13 ページ

7 使用方法

■ Helppad の使用方法について

- **移乗や体位変換、背あげ動作などをした後で、寝位置がずれてしまった場合は、正しい寝位置（使用者の股下が吸引シートの中央マークの位置）になるようにしてください。**
- **使用者の寝位置が正しい位置でない場合、吸引シートの吸引口におむつが当たらず、臭気が取れないため検知できません。**
- **使用者の寝返りやベッドからの移乗により、臭気の状態が変化し、正しく検知できない場合があります。**
- **使用者を移乗または体位変換させた際は、吸引シートのしわを伸ばし、手や足がポンプユニットに当たらないようにしてください。**



①Helppad をマットレス上に設置してください。
設置方法は、12 ～ 14 ページを参照ください。

②設定スイッチの一時停止ボタンを押して、ポンプユニットを一時停止してください。
一時停止の方法は、22 ページを参照ください。

③使用者の股下が吸引シートの中央マーク [◎] の位置になるように寝かせてください。

④設定スイッチの一時停止ボタンを押して、一時停止を解除してください。

⑤使用者を移乗または体位変換させる際は、22 ページの【移乗時／体位変換時】に従って操作してください。

- **Helppad 設置時は、ポンプユニット側から移乗を行わないでください。**

⑥使用者のおむつ交換を行う際は、22 ページの【おむつ交換時】に従って操作してください。

【排泄の通知と記録について】

排泄の通知は、下記の２つの方法があります。

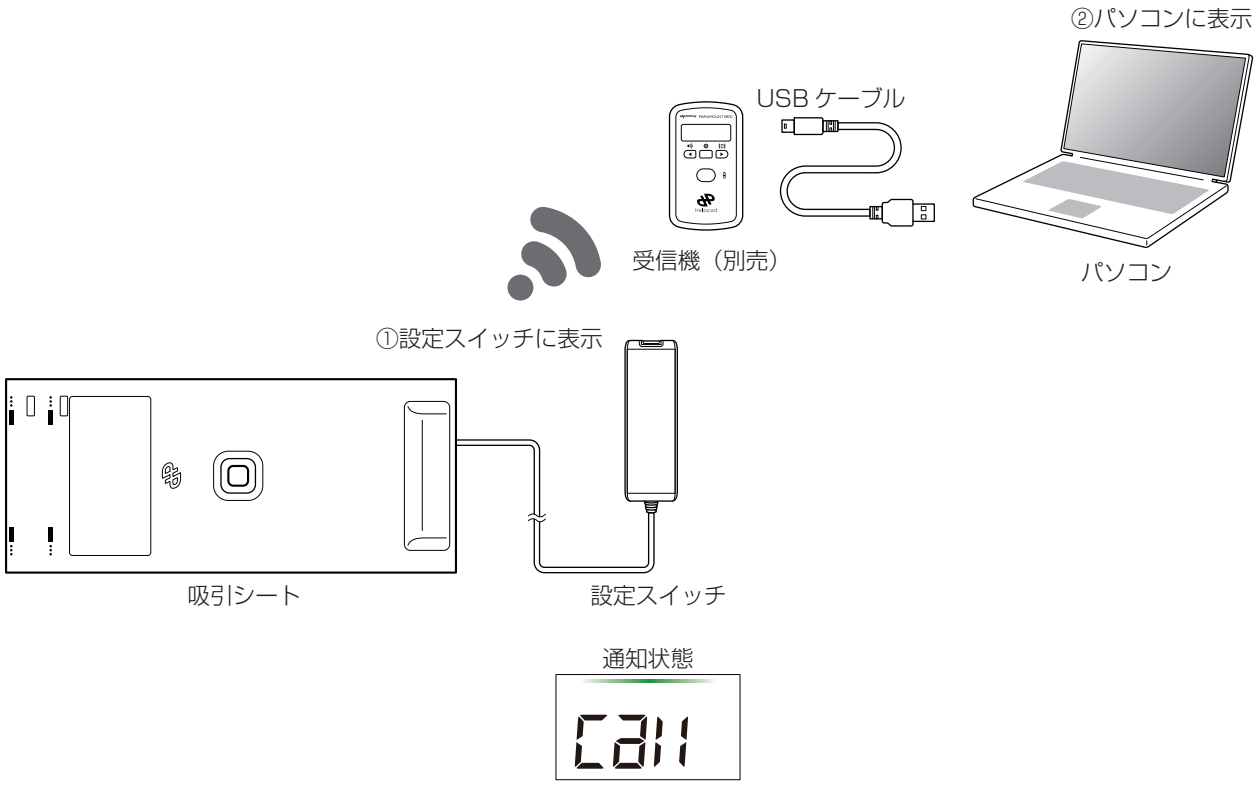
①設定スイッチ

使用者の排泄を検知した場合に、設定スイッチの表示パネルに「Call」を表示します。

②パソコン

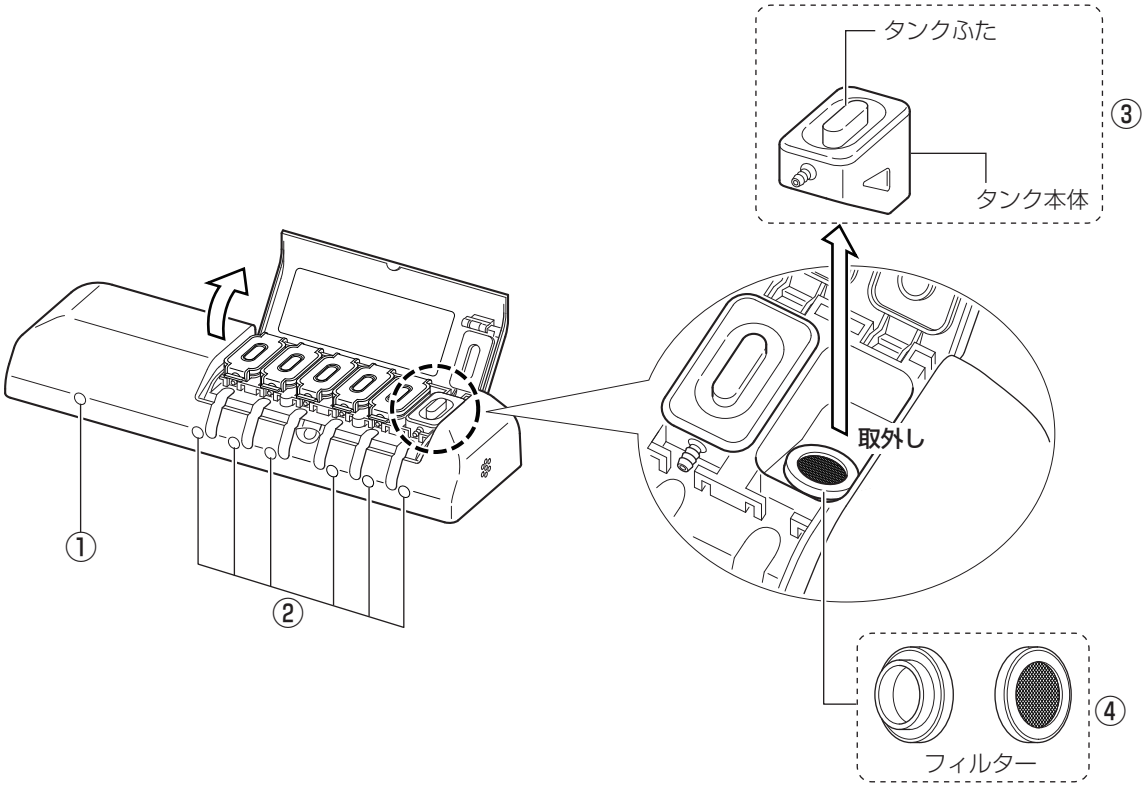
使用者の排泄を検知した場合に、WEB アプリに表示します。

- 受信機（別売）とパソコンが必要となります。
- 受信機とパソコンが USB ケーブルで接続状態であれば、排泄情報（おむつ内の臭気／排泄の内容）は、随時、自動的に記録されます。
- 記録された排泄情報は WEB アプリから閲覧が可能です。
- WEB アプリの使用方法については、Helppad 公式ホームページ（http://helppad.jp/ja/product）をご覧ください。
  ※別途、通信料および月額の WEB アプリサービス料が必要です。



7 使用方法

■ポンプユニットの各部の役割



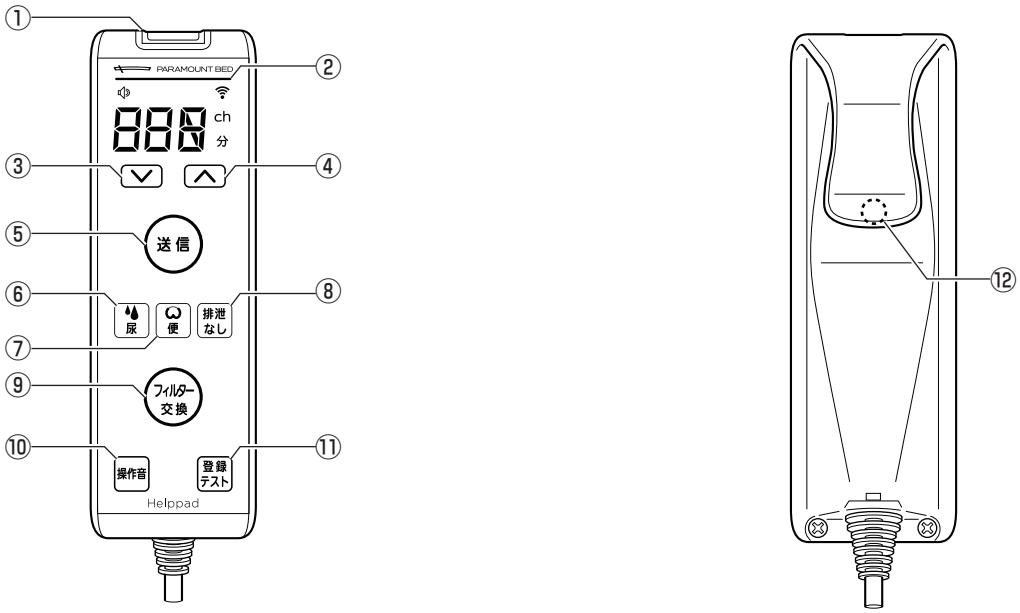
No.	項目	機能	参照ページ
①	電源ランプ	電源投入中に緑点灯します。	―
②	点検ランプ (6 ヶ所)	タンクに水 (便、尿を含む) が溜まった際に赤点灯します。 ※点灯中は吸引動作を停止します。 動作の復帰には、タンクのお手入れが必要です。	30・33
③	タンク (6 個)	吸引した水 (便、尿を含む) を溜めます。	―
④	フィルター (6 個)	「ちり」や「ほこり」を取除きます。	―

■設定スイッチの各部の役割

注記

● **設定スイッチが通常のときは、一時停止ボタンおよび設定ボタン以外の操作ができません（以下、操作ロック状態）。ご使用の際は、一時停止ボタンまたは設定ボタンを押して操作してください。**

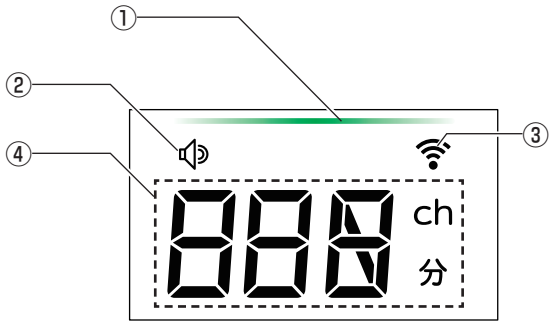
おもて面	うら面



No.	項目	機能	参照ページ
①	一時停止ボタン	設定スイッチの操作ロック状態を解除し、Helppad の動作を一時停止（20 分間）します。	22
②	電源ランプ	電源投入中に緑点灯します。	—
③	選択ボタン (さげ)	ポンプユニットのチャンネル番号の変更ができます。	21
④	選択ボタン (あげ)	ポンプユニットのチャンネル番号の変更ができます。	21
⑤	記録送信ボタン	排泄選択ボタンで入力した内容を記録 (送信) します。	22
⑥	排泄選択ボタン（尿）	おむつ交換後の排泄物（尿）の選択ができます。	22
⑦	排泄選択ボタン（便）	おむつ交換後の排泄物（便）の選択ができます。	22
⑧	排泄選択ボタン（排泄なし）	おむつ交換後の排泄物なしの選択ができます。	22
⑨	交換お知らせランプ	フィルターの交換時期をお知らせします。	23
⑩	設定選択ボタン (操作音)	操作音の状態（ON または OFF）の切換えができます。	21
⑪	設定選択ボタン (登録・テスト)	ポンプユニットと受信機（別売）の通信距離の確認ができます。	22
⑫	設定ボタン	設定スイッチの操作ロック状態を解除し、設定モードに移行します。	20 ～ 21

7 使用方法

■設定スイッチ（表示パネル）各部の役割



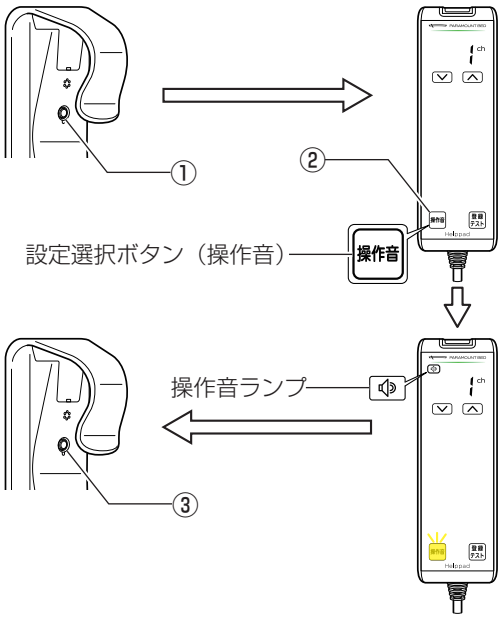
No.	項目	機能
①	電源ランプ	電源 ON 状態時に緑点灯します。エラー時に赤点滅または黄点灯します。
②	操作音ランプ	操作音 ON 状態時に点灯、操作音 OFF 状態時に消灯します。
③	登録・テストランプ	登録・テストモード時に点滅します。
④	表示ランプ	下記の表示を行います。 **【通知状態】** 排泄通知時に、表示ランプに「Call」の表示を行います。 **【一時停止】** 表示ランプに一時停止の残りの時間の表示を行います。 **【チャンネル設定】** 表示ランプにチャンネル番号「1」～「3」の表示を行います。 **【エラー状態】** 表示ランプに対応するエラーコードの表示を行います。 ※エラーコードの詳細は 39 ページの「故障かな？と思ったら」を参照ください。

■ ポンプユニットおよび設定スイッチの設定について

設定スイッチの裏面にある設定ボタンを押すことで設定モードに移行できます。
設定モードでは【操作音の設定】、【チャンネル番号の設定】、【通信距離確認】ができます。

● 設定モードの状態で一定時間 (30 秒) 操作がない場合、操作ロック状態に戻ります。
各設定の変更内容は反映されませんのでご注意ください。

【操作音の設定】



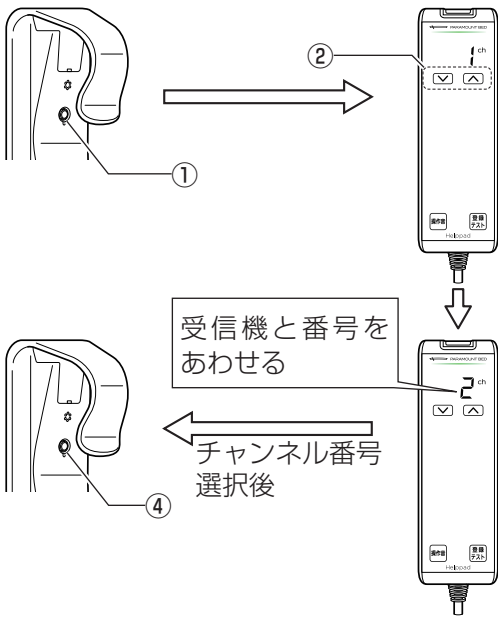
設定スイッチの操作音の状態 (ON または OFF) を変更できます。

①設定ボタンを押して、設定モードにしてください。
②設定選択ボタン (操作音) を押してください。
操作音の状態を切換えることができます。

操作音状態	設定選択ボタン (操作音)	操作音ランプ
ON	点灯 (明るい)	点灯
OFF	点灯 (暗い)	消灯

③設定が完了したら、設定ボタンを押して設定モードを終了してください。

【チャンネル番号の設定】



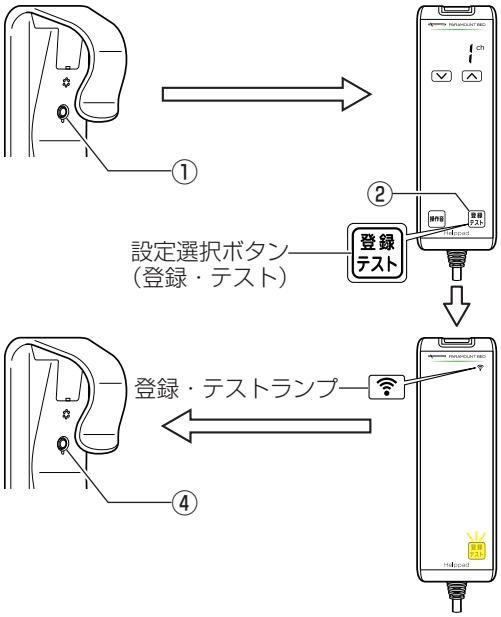
ポンプユニットのチャンネル番号の変更ができます。
※受信機との通信が不安定な場合に、チャンネル番号の設定を変更することで通信が安定する場合があります。
(受信機のチャンネル番号の設定は 26 ページを参照)

●チャンネル番号の初期設定は、「1」で設定されています。
●チャンネル番号は、通信を行う受信機と同じ番号に設定してください。

①設定ボタンを押して、設定モードにしてください。
②選択ボタン (さげ／あげ) を押してください。
③表示パネルにチャンネル番号が表示されます。
※チャンネル番号は「1」～「3」で設定可能です。
④設定が完了したら、設定ボタンを押して設定モードを終了してください。

7 使用方法

【通信距離確認】



ポンプユニットと受信機の通信距離の確認ができます。

①設定ボタンを押して、設定モードにしてください。

②設定選択ボタン (登録・テスト) を押してください。
登録・テストモードの状態を切換えることができます。

登録・テストモード	設定選択ボタン (登録・テスト)	登録・テストランプ
ON	点灯 (明るい)	点滅
OFF	点灯 (暗い)	消灯

③受信機を操作して、通信距離の確認を行ってください。
※受信機の通信距離確認の設定方法は 27 ページを参照してください。

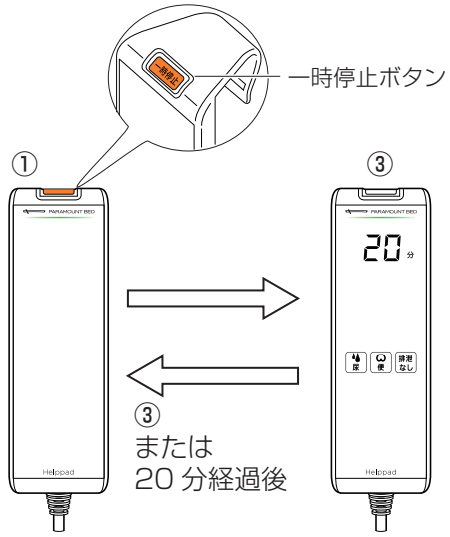
注記

● ポンプユニットと受信機との通信距離が遠い場合、ポンプユニットからの通信を受信機が受け取れません。

④設定が完了したら、設定ボタンを押して設定モードを終了してください。

■設定スイッチの操作について

【移乗時／体位変換時】



Helppad を使用中に使用者を移乗または体位変換させる場合は、Helppad を一時停止してください。

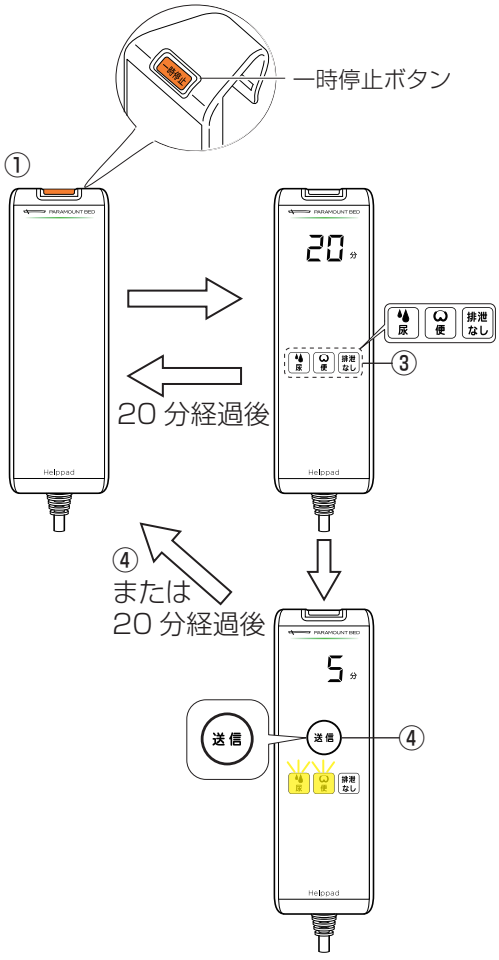
- **作業時に Helppad を一時停止していないと、誤って検知する可能性があります。**
- **一時停止は 20 分間継続します。**
- **20 分後に自動的に Helppad の動作が再開し、設定スイッチが操作ロック状態に戻ります。**

①一時停止ボタンを押して、Helppad を一時停止してください。
※一時停止中は一時停止ボタンが点灯します。

②使用者を移乗または体位変換させてください。

③一時停止ボタンを押して、Helppad の動作を再開してください。
※動作中は一時停止ボタンが消灯します。

【おむつ交換時】



おむつ交換時は Helppad を一時停止し、おむつ交換後に排泄データの記録 (送信) を行ってください。

- **排泄データの記録を行うことで、検知の精度が向上していきます。**
- **排泄選択ボタンの選択状態で、記録送信ボタンを押し忘れた場合、20 分後に自動的に Helppad の動作が再開し、ロック状態に戻ります。選択されている排泄情報は記録 (送信) されませんのでご注意ください。**

①一時停止ボタンを押して、Helppad を一時停止してください。

②使用者のおむつ交換を行ってください。

③おむつ交換完了後、排泄物の内容を排泄選択ボタンを押して選択してください。

尿ボタン [尿] : 尿があった場合に選択
便ボタン [便] : 便があった場合に選択
排泄なしボタン [排泄なし] : 排泄がなかった場合に選択
※尿と便が両方あった場合は、尿ボタンと便ボタンをどちらも選択状態にしてください。

状態	排泄選択ボタン
選択	点灯 (明るい)
非選択	点灯 (暗い)

④記録送信ボタンを押すと、選択した排泄情報を記録（送信）します。
※送信後に Helppad の動作が再開し、設定スイッチが操作ロック状態に戻ります。

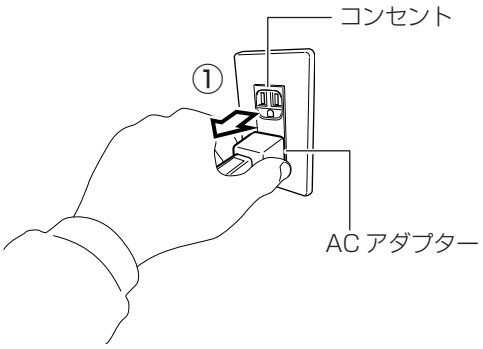
7 使用方法

■ 交換お知らせランプの解除について

フィルターの定期交換時は、設定スイッチの交換お知らせランプが点灯します。交換お知らせランプが点灯した場合は、以下の手順に従って、フィルターの交換を行ってください。

⚠注意（ちゅうい）

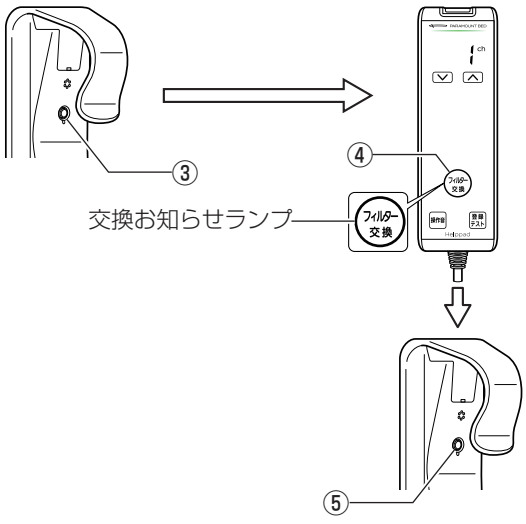
- **交換お知らせランプの解除は、フィルターの定期交換が完了してから実施してください。フィルター交換のやり忘れのおそれがあります。**
- **フィルターの定期交換を行わずに、Helppad を使用し続けると、フィルターが劣化し、ポンプユニットが故障するおそれがあります。**



①AC アダプターをコンセントから抜いてください。

②ポンプユニットからフィルターを取外し、新しいものに交換してください。

- **ポンプユニットのフィルターは、ほこり・汚れの詰まり防止のために定期的に交換してください。**
- **フィルターの交換方法の詳細は 34 ページ「9. 日常の点検とお手入れ」をご参照ください。**



③設定ボタンを押して、設定モードにしてください。

④交換お知らせランプを押して、交換お知らせランプを解除してください。

⑤設定ボタンを押して、設定モードを終了してください。

8 オプション

⚠警告

- **オプションは正しい組合せを確認した上でご使用ください。誤った組合せで使用すると、思わぬけがや故障の原因となります。**
- **本書記載のオプション以外は使用しないでください。製品が正しく動作しないおそれがあります。**

- **仕様変更などにより、この取扱説明書の記述と一部異なる場合があります。ご不明な点は、販売店または直接弊社までお問い合せください。**

品名	品番	内容物
受信機	NN-6040	受信機、USB ケーブル、
中継機	NN-6060	中継機、USB ケーブル、 AC アダプター
吸引シート（交換用）	NN-6010	吸引シートの側地、ウレタンシート、 吸引チューブ 4 本
吸引チューブセット（交換用）	3F11416600A*	吸引チューブ 10 本
タンク・フィルターセット （交換用）	3F11415400A*	タンク本体、タンクふた、 フィルター各6個
フィルターセット（交換用）	3F11415600A*	フィルター 30 個

※受信機 1 台につき複数台のポンプユニット（15 台）が接続可能です。
※パソコン 1 台につき、受信機 1 台が必要です。

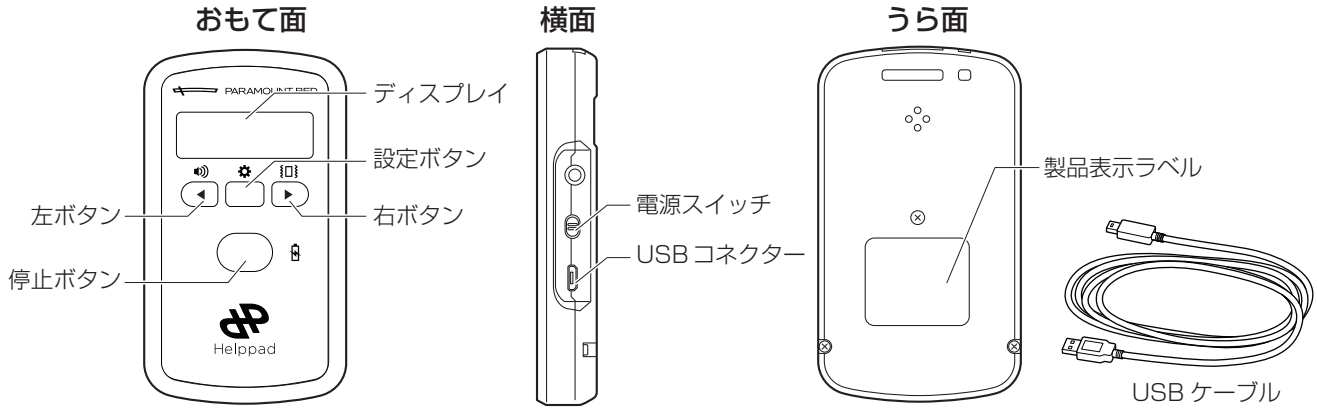
8 オプション

■受信機

受信機をパソコンに接続し、WEB アプリを使用することで、パソコン上に排泄の通知と排泄情報 (おむつ内の臭気／排泄の内容) の記録ができます。また、専用のソフトウェア (NN-C600) を使用することでパソコンからポンプユニットの登録・変更・削除ができます。

● **WEB アプリの使用方法・専用ソフトウェア（NN-C600）のダウンロードおよび使用方法につきましては、Helppad 公式ホームページ（http://helppad.jp/ja/product）をご覧ください。**
※使用するパソコンは、インターネットに接続されている必要があります。
※通信料はお客様のご負担となります。

●各部の名称



●設置方法

①受信機と付属のＵＳＢケーブルをご用意ください。
②受信機のＵＳＢコネクターにＵＳＢケーブルを接続してください。
③ＵＳＢケーブルの反対側のプラグを、パソコンのＵＳＢコネクターに接続してください。
④受信機の電源スイッチを ON にしてください。
⑤パソコンに専用ソフトウェア (NN-C600) をダウンロードしてください。
⑥専用ソフト (NN-C600) を起動し、初期設定を行ってください。

● **専用ソフトウェア（NN-C600）のダウンロードおよび使用方法につきましては、Helppad 公式ホームページ（http://helppad.jp/ja/product）をご覧ください。**

●各設定について

受信機の各ボタンを長押し（2 秒）することで、下記の設定が行えます。

ボタン	設定内容		説明	記載ページ
左ボタン	ー		左へ移動する	ー
右ボタン	ー		右へ移動する	ー
設定ボタン	パラメータ	チャンネル	受信機のチャンネルを設定する	26
		初期化	受信機を初期状態に戻す	27
	テスト		受信機とポンプユニットの通信距離の確認を行う	27

【チャンネル番号の設定】

受信機のチャンネル番号の変更ができます。

※ポンプユニットとの通信が不安定な場合に、チャンネル番号の設定を変更することで通信が安定する場合があります。(ポンプユニットのチャンネル番号の設定は 21 ページを参照)

●チャンネル番号の初期設定は、「1」で設定されています。
●チャンネル番号は、通信を行うポンプユニットと同じ番号に設定してください。

② モードセンタク
◂パラメータ▸
モード選択画面

③ パラメータ
◂チャンネル▸
パラメータ設定画面

④ チャンネル
◂1▸
チャンネル設定画面

⑤ マチウケチュウ
待受画面

①受信機の設定ボタンを長押し（2 秒）して、モード選択画面にしてください。
②左ボタン／右ボタンを押し、「パラメータ」を選択して設定ボタンを押してください。
③画面が「パラメータ」となっていることを確認した後、左ボタン／右ボタンを押し、「チャンネル」を選択して設定ボタンを押してください。

④チャンネル設定は「1」～「3」の番号で設定します。左ボタン／右ボタンを押し、一緒に使用するポンプユニットと同じチャンネル番号を選択して設定ボタンを押してください。
⑤画面が待受画面に移行し、受信機のチャンネル設定が完了します。

【初期化】

受信機に登録されているポンプユニットを初期化できます。

② モードセンタク
◂パラメータ▸
モード選択画面

③ パラメータ
◂ショキカ▸
パラメータ設定画面

④ ショキカスル?
◂YES▸
受信機初期化画面

⑤ マチウケチュウ
待受画面

①受信機の設定ボタンを長押し（2 秒）して、モード選択画面にしてください。
②左ボタン／右ボタンを押し、「パラメータ」を選択して設定ボタンを押してください。
③画面が「パラメータ」となっていることを確認した後、左ボタン／右ボタンを押し、「ショキカ」を選択して設定ボタンを押してください。

④「ショキカスル?」の確認メッセージが表示されるので、左ボタン／右ボタンを押し、「YES」を選択して設定ボタンを押してください。

⑤画面が待受画面に移行し、受信機の初期化が完了します。

8 オプション

【通信距離の確認】

受信機とポンプユニットの通信距離の確認ができます。
※ポンプユニットの通信距離確認の方法は 22 ページを参照ください。

●ポンプユニットと受信機との通信距離が遠い場合、ポンプユニットからの通信を受信機が受取れません。

②
モードセンタク
◂テスト▸

モード選択画面

⑤
テスト　　12345678
100%

通信距離確認画面

⑦
マチウケチュウ

待受画面

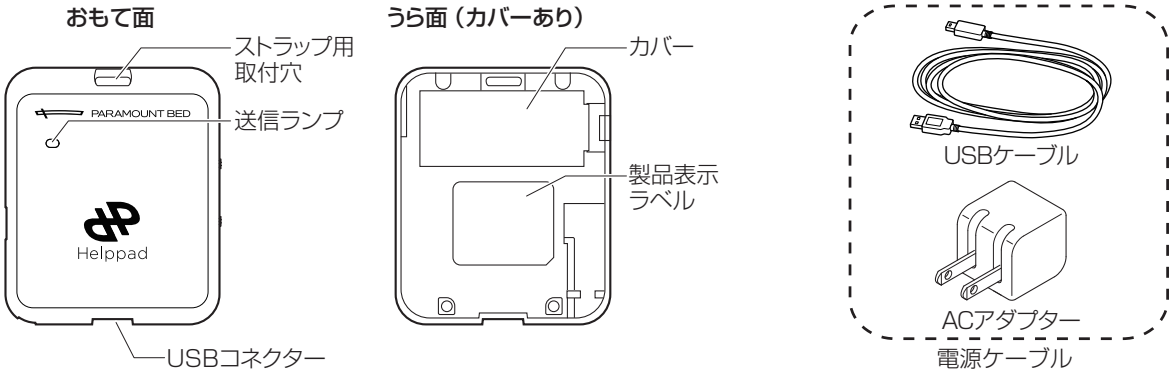
①受信機の設定ボタンを長押し（2 秒）して、モード選択画面にしてください。
②左ボタン／右ボタンを押し、「テスト」を選択して設定ボタンを押してください。
③画面が「テスト」となっていることを確認した後、通信距離の確認を行いたいポンプユニットを「登録･テストモード」にしてください。（21 ページ参照）
④ポンプユニットを設置したい位置に置いてください。
⑤受信機がポンプユニットからの信号を受取ると、受信機のディスプレイに通信強度(10% ～ 100%)が表示されます。
※通信強度は 10% に近づくほど弱くなり、100% に近づくほど強くなります。
⑥受信機のディスプレイに通信強度が表示されている間はポンプユニットとの通信が行われています。ポンプユニットからの信号を受取れなくなると、通信強度の表示は消えます。
⑦通信距離確認を終了する場合は、受信機の停止ボタンを押してください。画面が待受画面に移行し、通信距離確認が終了します。

■中継機

●中継機を使用することで、ポンプユニットと受信機の通信の中継が可能になり、通信距離の範囲を拡大することができます。

●Helppad と受信機の間に設置できる中継機は1台です。
●中継機を使用する場合は、電源ケーブルが必要となります。（乾電池は使用しません）
●中継機は、受信機への登録は必要ありません。

●各部の名称



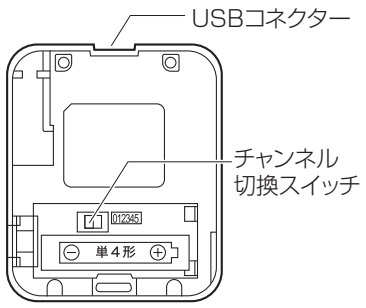
●設置方法

①AC アダプターに USB ケーブルを接続してください。
②中継機の USB コネクターに USB ケーブルを接続してください。
③ポンプユニットと受信機の通信距離を延長したい場合に、中継機を設置し、AC アダプターをコンセントに差込んでください。

●各設定について

チャンネルを切換えることができます。

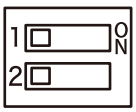
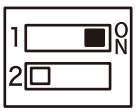
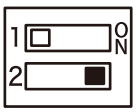
切換スイッチ	設定内容	説明
チャンネル切換スイッチ	1	中継機のチャンネルを 1 に設定する。
	2	中継機のチャンネルを2に設定する。
	3	中継機のチャンネルを3に設定する。



中継機うら面
（USBコネクターが
上にくるようにしてご覧ください）

●チャンネル設定

①中継機のカバーを開けてください。
② チャンネル切換スイッチで「1」～「3」の番号で設定します。一緒に使用する受信機・ポンプユニットと同じチャンネル番号を選択してください。
※中継機のチャンネル番号の対応は下記の表をご確認ください。

チャンネル番号	1	2	3
チャンネル切換スイッチ			

●チャンネル切換スイッチは「1」～「3」以外の設定にしないでください。記録（送信）ができなくなります。

9 日常の点検とお手入れ

■ 日常の点検

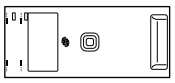
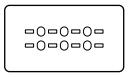
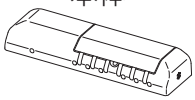
＜使用者による保守点検事項＞

Helppad を使用する前に、下記の点検項目をチェックして、異常がないことを確認してください。
異常が認められた場合は、パラテクノコールセンター (41 ページ参照) までお問い合せください。

日常の点検項目	参照ページ
設置条件や設置方法に従い、正しい位置に設置されていること	12 ～ 14
Helppad が排泄物で汚れていないこと	―
分岐ケーブルが正しく配線されていること	13
Helppad や設定スイッチが破損・変形していないこと	―
受信機とパソコンが接続されていること	25
受信機にポンプユニットが登録されていること	25
パソコンがインターネットに接続され、WEB アプリが起動していること	―

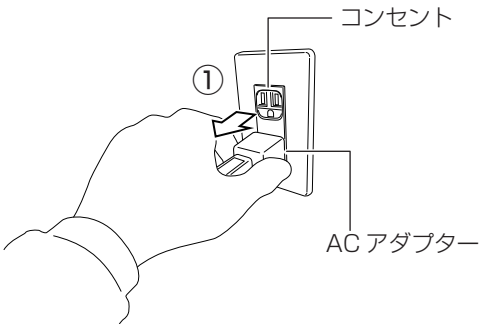
■ 日常のお手入れ

Helppad は清潔を保つために、下記に示す部分を定期的に洗浄・消毒してください。
また、Helppad が排泄物で汚れてしまった場合も同様にお手入れを行ってください。
お手入れを行う際は、衛生管理・感染症予防のため、手袋を着用してください。

お手入れ箇所	お手入れ方法	定期お手入れ頻度	交換頻度（消耗部品）	参照ページ
吸引シート				
吸引シート側地 	洗濯 / 交換	・1 ヶ月 ・汚れたとき	1 年	31
ウレタンシート 	清拭 / 交換	・1 ヶ月 ・汚れたとき	1 年	32
吸引チューブ	交換	―	・2 ヶ月 ・汚れたとき	32
ポンプユニット				
本体 	清拭	・汚れたとき	―	33
タンク	洗浄 / 交換	・1 ヶ月 ・汚れたとき	1 年	33
フィルター	交換	―	・交換お知らせランプが点灯したとき ・汚れたとき	34

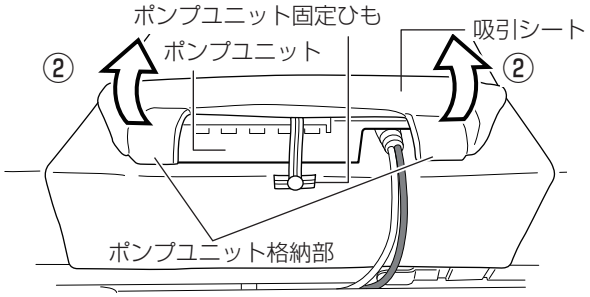
■ Helppad の取外しかた

以下の手順に従って Helppad をマットレスから外し、お手入れをしてください。



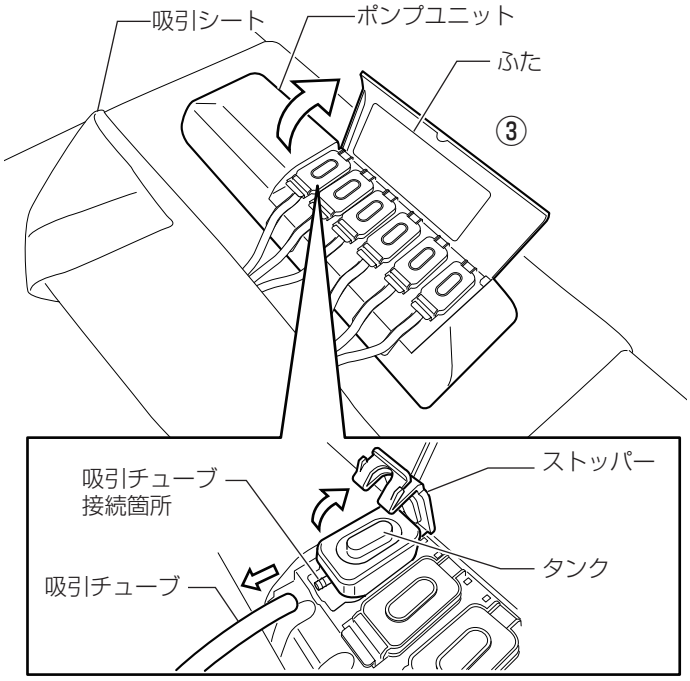
①AC アダプターを抜く

AC アダプターをコンセントから抜いてください。



②ポンプユニットを取出す

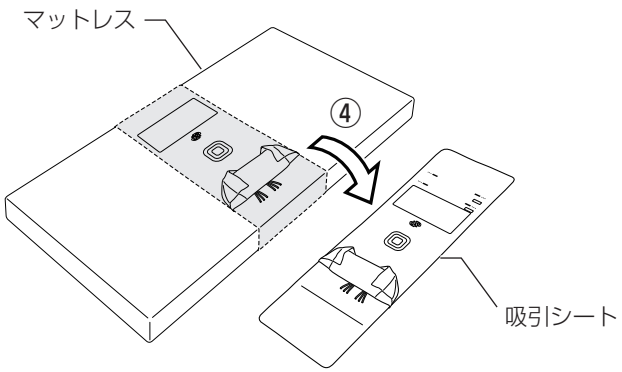
ポンプユニット固定ひもを外し、吸引シートのポンプユニット格納部からポンプユニットを取出してください。



③吸引チューブを取外す

ポンプユニットのふたを開けてタンクから吸引チューブを取外してください。

- **ポンプユニット本体、タンク、フィルターのお手入れは 33・34 ページを参照してください。**
- **タンクに液体がたまった状態で、ポンプユニットを傾けないでください。液体が漏れるおそれがあります。**



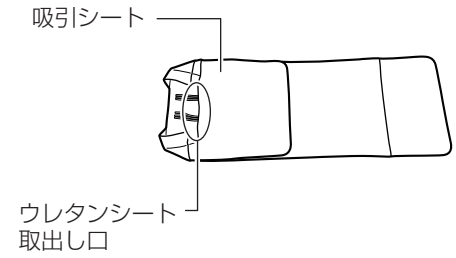
④吸引シートを取外す

吸引シートをマットレスから取外してください。

- **吸引シート側地、ウレタンシート、吸引チューブのお手入れは 31・32 ページを参照してください。**

9 日常の点検とお手入れ

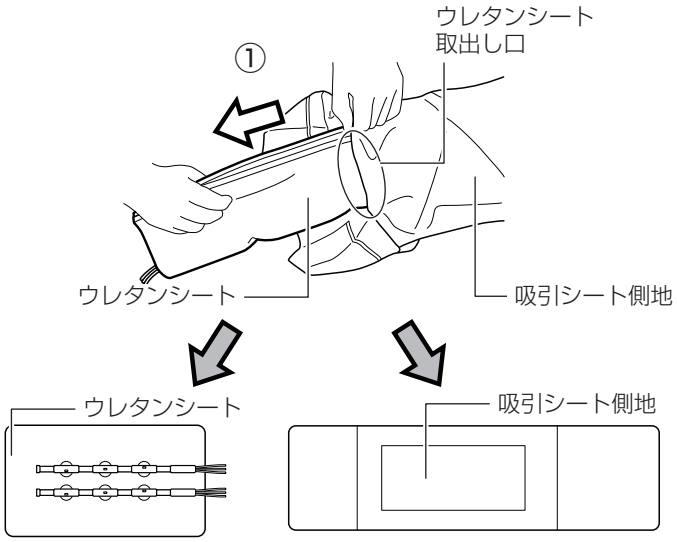
■ 吸引シート側地のお手入れ方法

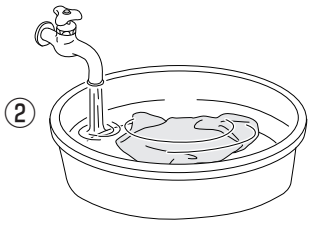


①ウレタンシートを取出す

吸引シートのウレタンシート取出し口からウレタンシートを取出してください。

●ウレタンシートを折り曲げながら取出すと、容易に取出すことができます。

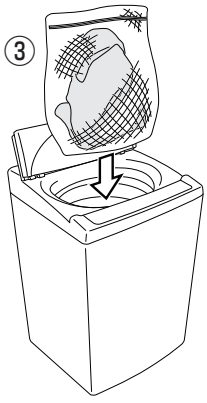




②予洗いをする

吸引シート側地の汚れを水で予洗いし、大まかな汚れを落としてください。

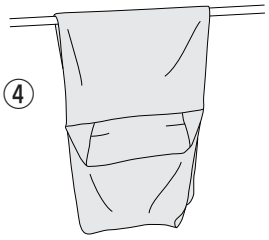
●汚れがひどい場合は、次亜塩素酸ナトリウム溶液（濃度 0.02 ～ 0.05%）に 1 ～ 2 時間つけ置き洗いしてください。



③洗濯する

洗濯機で洗濯してください。

●排泄物専用洗剤を使用すると、においが取れやすくなります。
●洗濯ネットに入れて洗ってください。



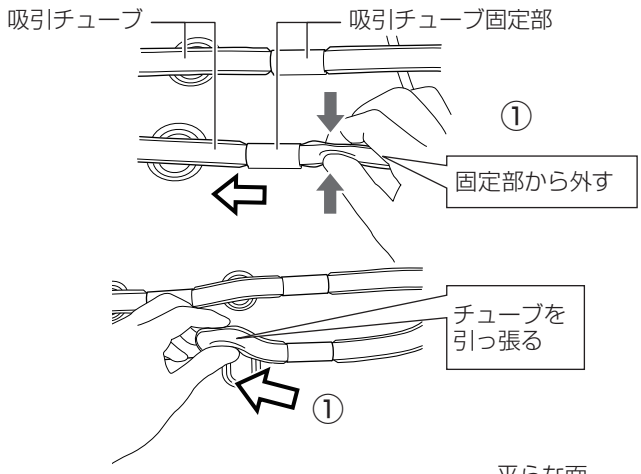
④乾かす

洗濯後、かげ干しにして十分乾かしてください。

■ ウレタンシートのお手入れ方法

⚠注意

● ウレタンシートは水に浸けないでください。ウレタンシートの内部に水が浸入して使用できなくなります。



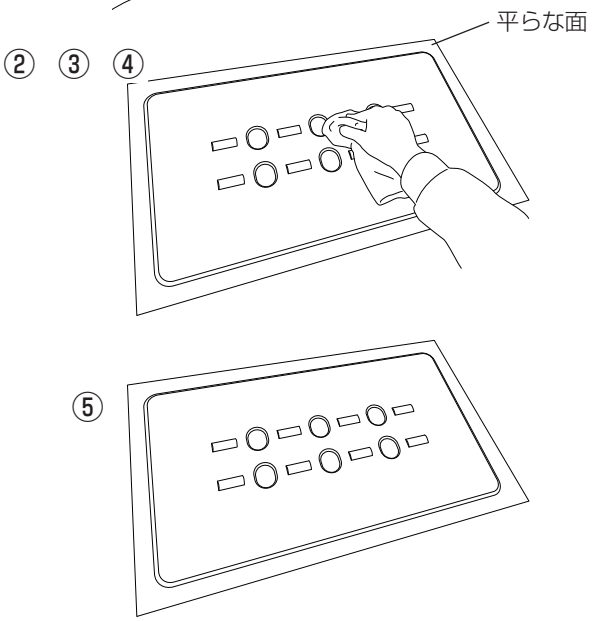
①吸引チューブを取外す

ウレタンシートから吸引チューブを取外してください。

※取外しは左のイラストを参考にして、吸引チューブ固定部から吸引チューブを引っ張って外してください。

注記

●吸引チューブを折り曲げながら取出すと、容易に取出すことができます。



②清拭する

次亜塩素酸ナトリウム溶液(濃度 0.02 ～ 0.05%)にひたした布を、よくしぼって拭いてください。

③水拭きする

水でひたした布をよくしぼって、残った次亜塩素酸ナトリウム溶液を拭き取ってください。

④乾拭きする

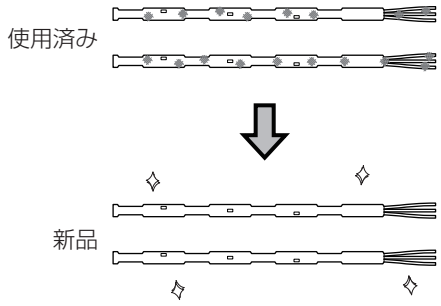
乾いた布で残った水分を拭き取ってください。

⑤乾かす

図のように平置きの状態で、かげ干しにして十分乾かしてください。

※お手入れ後の組立てかたは、36 ページ参照。

■ 吸引チューブの交換について



①吸引チューブを交換する

吸引チューブの内部に汚れや液体が付着した場合は、新しい吸引チューブに交換してください。

注記

● 吸引チューブの取外し方法は上記「■ウレタンシートのお手入れ方法」の①を参照してください。

● 吸引チューブの取付方法は、36 ページを参照してください。

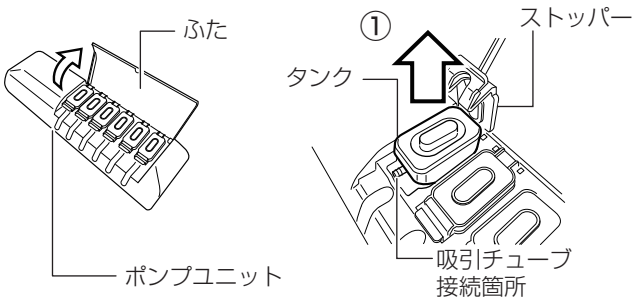
● 交換の頻度は、29 ページを参照してください。

9 日常の点検とお手入れ

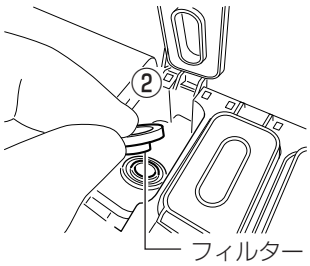
■ ポンプユニットのお手入れ方法

注記！

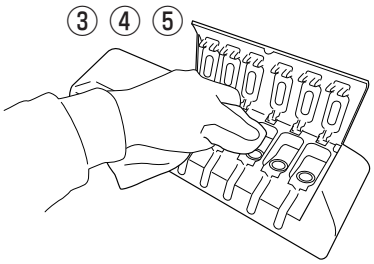
●中性洗剤はトイレ用合成洗剤（中性）を使用してください。
●中性洗剤は洗剤容器に表示されている分量でうすめてください。



①タンクを取外す
ポンプユニットのふたを開け、タンクを取外してください。



②フィルターを取外す
タンク取出し後、ポンプユニットからフィルターを取外してください。

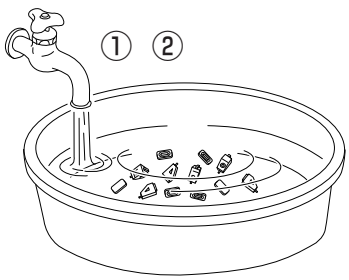


③清拭する
水で薄めた中性洗剤にひたした布をよくしぼって、ポンプユニット表面などの汚れた場所を拭いてください。
④水拭きする
水でひたした布をよくしぼって、残った洗剤分を拭き取ってください。
⑤乾拭きする
乾いた布で残った水分を拭き取ってください。
※お手入れ後の組立てかたは、37ページ参照。

■ タンクのお手入れ方法

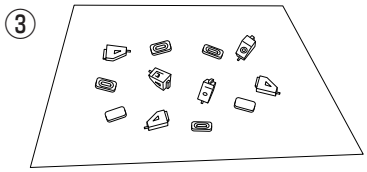
注記！

●中性洗剤はトイレ用合成洗剤（中性）を使用してください。
●中性洗剤は洗剤容器に表示されている分量でうすめてください。



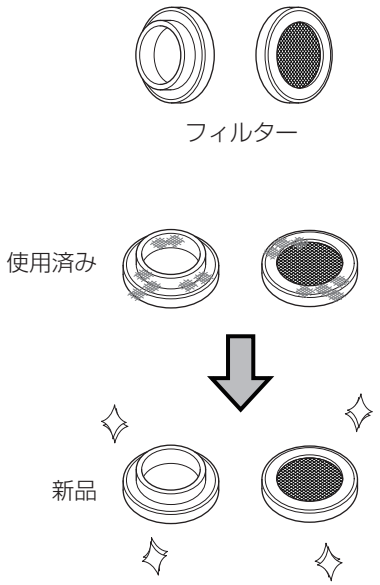
①すすぎ洗いをする
タンク本体とタンクのふたを水ですすぎ洗いをしてください。

②洗浄する（汚れが付着している場合）
タンク内に汚れが付着している場合は、水で薄めた中性洗剤で、スポンジなどを使用して洗浄してください。水で十分にすすいでください。



③乾かす
乾いた布で水分を拭き取り、十分乾かしてください。

■ フィルターの交換について



①フィルターを交換する

フィルターに尿や便などの汚れが付着した場合または交換お知らせランプが点灯した場合は、新しいフィルターに交換してください。

注記

- **フィルターの取外し方法は 33 ページを参照してください。**
- **交換の頻度は、29 ページを参照してください。**

9 日常の点検とお手入れ

■消毒について

タンク本体、タンクふたの消毒は、次亜塩素酸ナトリウムが含まれているものを使用してください。

⚠注意（ちゅうい）

- **揮発性のもの（シンナー、ベンジン、ガソリンなど）やクレゾールは使用しないでください。変色・変質するおそれがあります。**
- **消毒液を使用する場合は、指定以外の薬品を使用しないでください。破損・変質のおそれがあります。**
- **中性洗剤を使用した場合は、その後水拭きをしてください。水拭きをしないと樹脂の部分が割れるおそれがあります。**

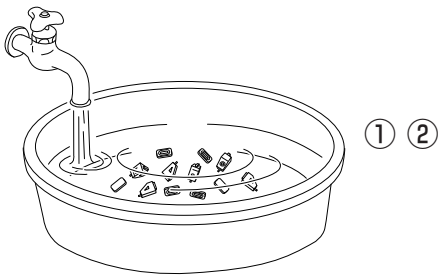
●消毒液の作りかた

次亜塩素酸ナトリウム溶液の濃度が 0.02 ～ 0.05% となるように、消毒液を作ります。

- **次亜塩素酸ナトリウムが含まれていない消毒液は使用しないでください。消毒の効果が低減します。**
- **消毒液は容器に表示されている注意書きに従い使用してください。**

●消毒のしかた

- **消毒する前に、必ず洗浄を行ってください。消毒の効果が低減します。**
- **オゾン殺菌器、オートクレーブ滅菌器などには対応できません。**

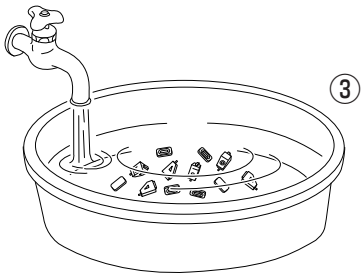


①消毒液にひたす

消毒液を容器に入れ、タンク本体、タンクふたをひたします。

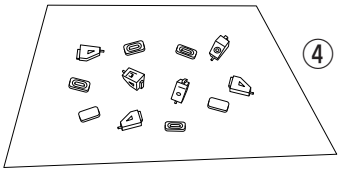
②浸け置きする

20 分以上浸け置きしてください。



③すすぎ洗いをする

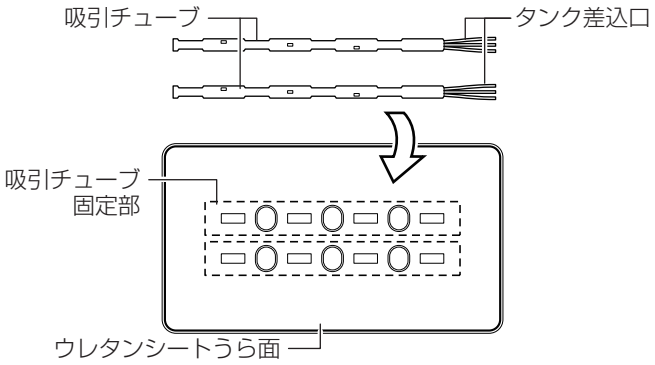
消毒液から取出し、水で十分にすすぎ、乾いた布で水分を拭き取ってください。



④乾かす

拭き取り後、十分乾かしてください。

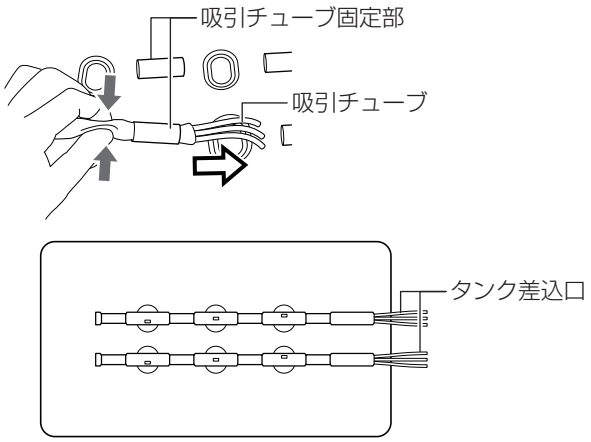
■ お手入れ後の組立てかた（吸引シート）

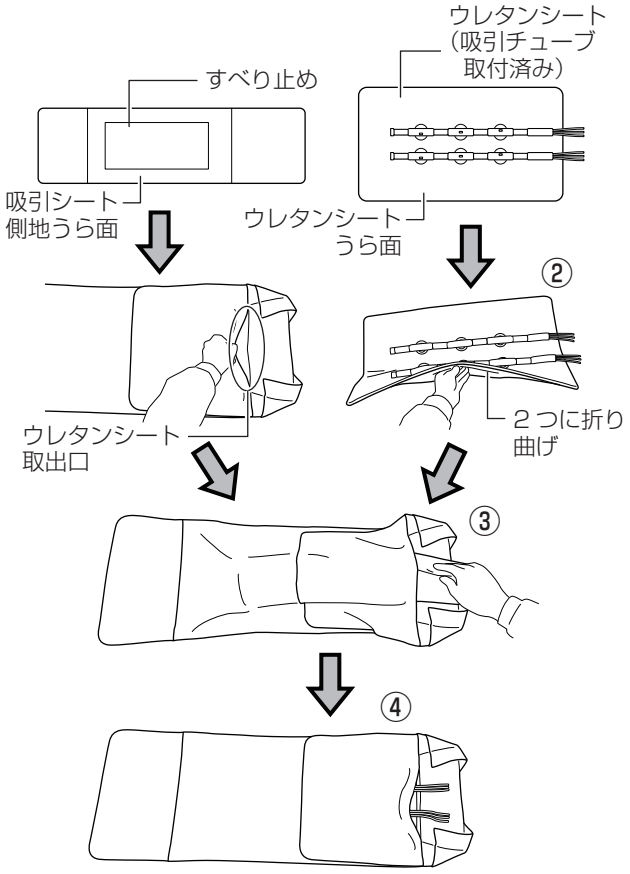


①吸引チューブを固定する

2 本の吸引チューブをウレタンシートの吸引チューブ固定部にそれぞれ通して固定してください。

- **吸引チューブの取付けには向きがあります。2 本の吸引チューブのタンク差込口が同じ向きになるように固定してください。誤った向きで取付けるとタンクへの接続ができなくなります。**
- **吸引チューブを折り曲げながら取付けると、容易に取付けることができます。**





- **吸引シート側地うら面とウレタンシートのうら面が合うように入れてください。誤った向きで取付けると、排泄の検知が正しくできません。**
- **ウレタンシートをうら面にして入れることで吸引チューブの折れ曲がりなどが確認しやすくなります。**

②ウレタンシートを折り曲げる

吸引チューブが内側になるように、ウレタンシートを 2 つに折り曲げてください。

③ウレタンシートを入れる

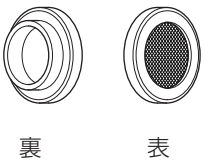
ウレタンシート取出し口からウレタンシートを入れてください。

④ウレタンシートを整える

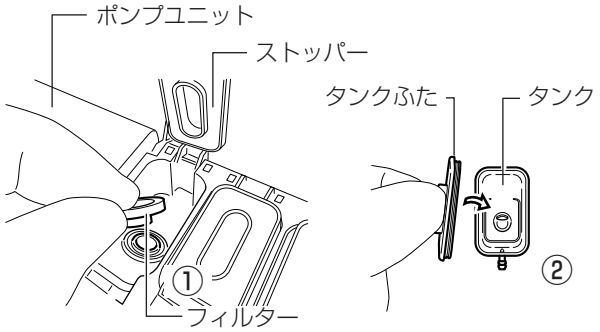
ウレタンシートが平らになるように吸引シートを整えてください。

9 日常の点検とお手入れ

■ お手入れ後の組立てかた（ポンプユニット）



フィルター



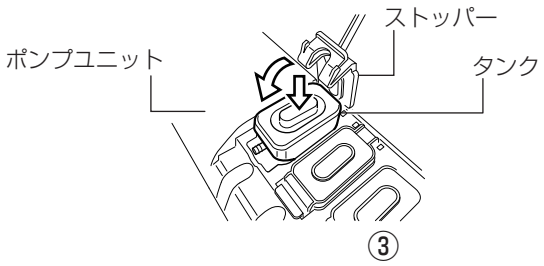
①フィルターを取付ける

フィルターの裏を下にし、フィルターをポンプユニットに取付けてください。

● フィルターは奥までしっかりと取付けてください。奥まで取付けられていない場合、検知漏れを引き起こす可能性があります。

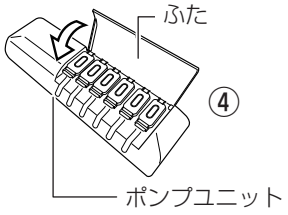
②タンクふたを取付ける

タンクにタンクふたを取付けてください。



③タンクを取付ける

タンクをポンプユニットにはめ込み、ストッパーを「カチッ」と音がするまで押込んでタンクを固定してください。



④ふたを閉める

ポンプユニットのふたを「カチッ」と音がするまで閉めてください。

■お手入れ後の組立てかた（吸引シート）

① 12 ～ 14 ページの「**6 設置方法**」に従って吸引シートにポンプユニットを取付けてください。

● Helppad の設置が完了したら、ご使用になる前に 14 ページの「■設置後の点検方法」に従って Helppad の動作点検を行ってください。

10 長期保管と廃棄

■ 長期保管について

●直射日光の当たる場所・ほこりの多い場所での保管は避けてください。

●温度－10 ～ 50℃、湿度 30 ～ 90%RH の環境で保管してください。

●取扱説明書および付属部品は紛失しないよう、大切に保管してください。

●ウレタンシートや吸引チューブは折り曲げずに保管してください。

●洗浄、消毒を行ってから保管してください。

⚠注意（ちゅうい）	**保管する際は、Helppad の上に重いものを載せたり、力がかかる状態で保管したりしないでください。Helppad が破損・変形するおそれがあります。**

■ 廃棄について

● 廃棄する際は、「廃棄物の処理および清掃に関する法律」および各自治体の規則に従ってください。

11 故障かな？と思ったら

- 故障でない場合がありますので、修理を依頼される前にもう一度、以下の項目を確認してください。
- 確認・処置をしても正常に動作しない場合は、ただちに Helppad の使用を中止し、販売店またはパラテクノコールセンター (41 ページ参照) まで修理をご依頼ください。
- 故障や一時的異常の場合は、設定スイッチの表示パネルにエラーコードが表示されることがあります。エラーコードを確認してください。

症状	電源ランプ	エラーコード	チェック	処置	参照ページ
通知がこない	—	—	受信機がパソコンに接続されていますか?	USB ケーブルを使用し、パソコンに受信機を接続してください。	25
	—	—	受信機の電源が入っていますか?	受信機の電源スイッチを ON にしてください。	25
	—	—	受信機およびポンプユニットの設定・設置が正しくされていますか?	受信機およびポンプユニットの設定・設置をやり直してください。	12〜14・25
	—	—	ポンプユニットの電波が受信機まで届いていますか?	ポンプユニットと受信機の間に障害物がないか確認してください。	21・27
	—	—	ポンプユニットの電源が入っていますか?	AC アダプターをコンセントから抜き、再度差してください。	—
	—	—	設定スイッチの交換お知らせランプが点灯していますか?	フィルターを新品と交換してください。	23・33・34
	—	—	吸引チューブが外れていませんか?	ポンプユニットに吸引チューブを接続してください。	12
	—	—	吸引シートがずれていませんか?	吸引シートの設置をやり直してください。	13〜15
	—	—	吸引シートの吸引口をふさいでいませんか?	吸引シートの上からものを取除いてください。	—
	—	—	吸引シートおよびポンプユニットが汚れていませんか?	吸引シートおよびポンプユニットのお手入れを行ってください。	29〜37
	黄点灯	U02	分岐ケーブルに傷などが付いていませんか?	AC アダプターをコンセントから抜き、設定スイッチの電源ランプが消えたことを確認して、もう一度コンセントに差込んでください。	—
			分岐ケーブルが正しく接続されていますか?		
	黄点灯	U 09	長い間 (30 秒以上) ボタンを押し続けていませんか?	ボタンを離してから再度操作してください。	—
	黄点灯	U 10	湿布や香水、お香などを使用していませんか?	Helppad を使用する際は、湿布や香水、お香などを使用しないでください。 ※部屋のにおい、および使用者の身体に付けられた臭気は、誤検知・検知漏れを引き起こします。	—
	黄点灯	U 11	設置したポンプユニットが傾いていませんか?	ポンプユニットを平らな面に正しく設置してください。	12〜14
	黄点灯	U12	ポンプユニットの点検ランプが点灯していませんか?	タンクのお手入れを行ってください。	33
	黄点灯	U 13・14	パソコン (受信機) がポンプユニットの電波圏外に来ていませんか?	パソコン (受信機) をポンプユニットの電波範囲内でご使用いただくか、中継機 (28 ページ参照) をお買い求めいただき、ご利用ください。	27・28
	赤点滅または黄点灯	H**	—	一度 AC アダプターをコンセントから抜いて、設定スイッチの電源ランプが消えたことを確認して、もう一度コンセントに差直してください。	—
通知が多い	—	—	一時停止ボタンを使用せずに、移乗・体位変換・おむつ交換をしていませんか ?	移乗・体位変換・おむつ交換時は、一時停止ボタンを使用してください。	22
	—	—	食事のにおい、他の方のおむつ交換の臭気が部屋にこもっていませんか?	換気を行った後に、Helppad を使用してください。	—
	黄点灯	U02	分岐ケーブルに傷などが付いていませんか?	AC アダプターをコンセントから抜き、設定スイッチの電源ランプが消えたことを確認して、もう一度コンセントに差込んでください。	—
			分岐ケーブルが正しく接続されていますか?		
	黄点灯	U 10	湿布や香水、お香などを使用していませんか?	Helppad を使用する際は、湿布や香水、お香などを使用しないでください。 ※部屋のにおい、および使用者の身体に付けられた臭気は、誤検知・検知漏れを引き起こします。	—

12 仕様

	品名			Helppad
	品番			NN-6000
吸引シート	寸法 (cm)	全長		145
		全幅		40
		全高		1
	製品質量 (g)			450
	主な材質	吸引シート		PET
		ウレタンシート		PU
		吸引チューブ		PVC
	環境条件	運送時 保管時	温度 (℃)	−10 ～ 50
			湿度 (%RH)	30 ～ 90
		使用時	温度 (℃)	10 ～ 30
			湿度 (%RH)	30 ～ 75
	最大利用者体重 (kg)			138
ポンプユニット	寸法 (cm)	全長		8
		全幅		29
		全高		4
	製品質量 (g)			750（設定スイッチを含む）
	電源			AC100V 50/60Hz
	消費電力			5W 以下
	主な材質	ポンプユニット		ABS
		タンク		PET、EPDM
		フィルター		EPDM
	環境条件	運送時 保管時	温度 (℃)	− 10 ～ 50
			湿度 (%RH)	30 ～ 90
		使用時	温度 (℃)	10 ～ 30
			湿度 (%RH)	30 ～ 75
	通信距離（m）			見通し 100
	保護特性			IP31
	無線			920MHz 帯（3 波）
	分岐ケーブル（電源 / 設定スイッチ）		ケーブル長（m）	2
	耐用期間			5 年 [自己認証（当社データ）による] ※ただし、消耗部品は除く

13 アフターサービスについて

1. 保証書

保証書は必ず「販売店名・お買い上げ日」などの記入をお確かめになり、記載内容をよくお読みいただき大切に保管してください。保証期間はお買い上げ日より１年間です。

販売店・お買い上げ日の記入がない場合は、品番・販売店・お買い上げ日が確認できるように、製品をお買い上げの領収書などを保証書と一緒に保管してください。

2. 修理を依頼されるとき

修理のご依頼は、お買い上げの販売店または弊社製品の修理受付窓口であるパラテクノコールセンター（下記参照）までご連絡ください。

■連絡していただきたい内容

- ●品名、品番、製品表示ラベルの番号（位置は５ページ参照）
- ●お買い上げ日
- ●故障または異常の内容（できるだけ詳しく）
- ●施設名、お名前、ご住所および電話番号

■消耗部品について

- ●吸引シート側地、ウレタンシート、吸引チューブ、タンク、フィルター、設定スイッチは消耗部品です。

■保証期間は

保証書の記載内容に基づき無償で修理いたします。ただし保証期間内でも修理が有償になる場合があります。詳しくは保証書をご覧ください。

■保証期間が過ぎているとき

修理により使用できる製品については、ご要望により有償で修理いたします。

3. 部品の最低保有年数は

この製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後８年としております。

4. アフターサービスについてご不明な場合は

お買い上げの販売店、またはパラテクノコールセンターまでお問い合せください。

パラテクノコールセンター 0120-54-8639　受付時間　平日８：00 ～ 19：00
土・日・祝日９：00 ～ 17：20（年始は休業いたします）

【パラテクノ株式会社について】弊社製品の修理や保守点検などの各種サービスを実施する会社です。

< パラマウントベッド 株式会社 >

本　　社	〒136-8670	東京都江東区東砂２丁目14番５号	☎(03)3648-1111(大代)
東京支店	〒136-8670	東京都江東区東砂２丁目14番５号	☎(03)3648-1171（代）
札幌支店	〒060-0062	札幌市中央区南２条西13丁目318番地11	☎(011)271-1181（代）
仙台支店	〒984-0015	仙台市若林区卸町２丁目３番地の３	☎(022)239-5211（代）
さいたま支店	〒338-0001	さいたま市中央区上落合９丁目４番７号	☎(048)852-0707（代）
横浜支店	〒194-0004	東京都町田市鶴間５丁目３番33号	☎(042)795-8800（代）
名古屋支店	〒461-0001	名古屋市東区泉１丁目20番17号	☎(052)963-0600（代）
大阪支店	〒550-0001	大阪市西区土佐堀２丁目３番33号	☎(06)6443-8791（代）
広島支店	〒733-0011	広島市西区横川町３丁目８番５号	☎(082)293-1311（代）
福岡支店	〒812-0013	福岡市博多区博多駅東３丁目14番20号	☎(092)461-1131（代）

メモ

保 証 書

品　　名	排泄センサー Helppad	品　　番	NN-6000
保証期間	1年間	保証対象	本体

★ お買い上げ日		年　　月　　日
お客様	お名前	
	ご住所	〒□□□-□□□□ ☎　　（　　）
★販売店	店　名 住　所	☎　　（　　）

★印欄の情報が確認できない場合は無効となりますので販売店から発行された★印欄の情報が確認できる領収書などを、本保証書と一緒に大切に保管してください。この保証書は、本書の記載内容に基づき無償修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から上記保証期間中に、取扱説明書、本体ラベルなどの注意書きに従った正しい使用状態で故障した場合は、本書をご提示の上、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
※本保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

保証規定

1. 保証期間内(お買い上げの日より1年間)に、正常なご使用状態において故障した場合は、無償で修理いたします。
2. 次のような場合は、保証期間内でも修理は有償となります。
   (1)使用上の誤り、あるいは不当な改造や修理による故障および損傷
   (2)弊社が指定する適合品以外の製品と組合せて使用したことによる故障および損傷
   (3)お買い上げ後の移動、設置、落下あるいは輸送による故障および損傷
   (4)火災、煙害、異常電圧および地震、雷、風水害、その他、天災地変などによる故障および損傷
   (5)保証書のご提示がない場合
   (6)本保証書の保証期間および販売店名が確認できない場合
   (7)字句を書き換えるなどの不正行為が発覚した場合
3. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。
   ●This warranty is valid only in Japan.

修理実施日	修　理　内　容	担当者

※この保証書は、本書に明示した期間、条件の基において無償修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明な場合は、お買い上げの販売店、またはパラテクノコールセンターまでお問い合せください。
※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは取扱説明書の中の「アフターサービスについて」をご覧ください。

パラマウントベッド株式会社　〒136-8670 東京都江東区東砂2丁目14番5号

製版：株式会社 ペンシルメイク '18. 08